

②ホームページや SNS等を活用した情報発信

■ トップページ



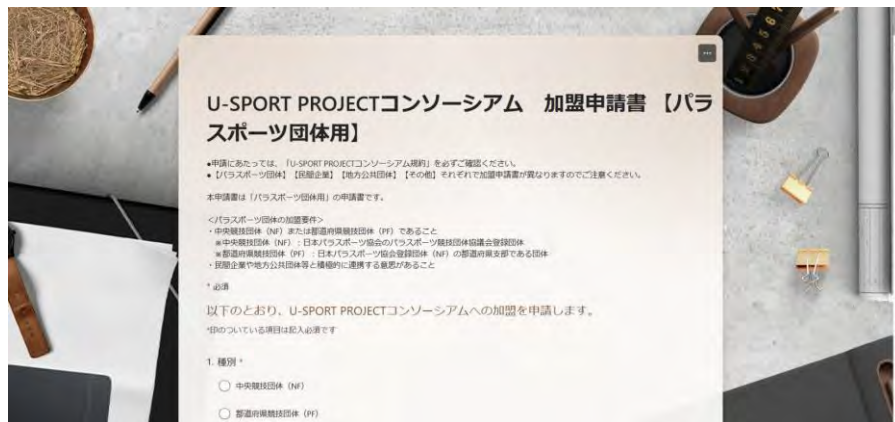
コンソーシアムコーナー新設



マガジンコーナー新設



■ コンソーシアム加盟申請フォーム



■ 取材記事 : 産経新聞社

2025年03月11日

産経新聞社

産経新聞社“ふくのわプロジェクト”
“服”から“福”の輪を生み出すパラスポーツ応援事業



「U-SPORT PROJECT コンソーシアム」では、パラスポーツ団体、民間企業、地方公共団体等が、それぞれの持つ強みやリソースを、他団体との連携により継続性・持続性のある新たな現場に繋げることが目指されています。
今回は、コンソーシアムに加盟した団体にインタビューを行い、どういった現場をされているのかを教えてくださいました。第1回は、産経新聞社の取り組みをご紹介します。

社員発案で2016年にスタートした“ふくのわプロジェクト”

首都圏・近畿圏を中心に全国展開する日本有数のメディアである産経新聞社。1933年の創刊以来、新聞社としての社会的責任を果たすことを理念に、幅広い分野で情報発信している。また、1963年には新聞社では国内で初めて「新聞奨学生制度」を創設するなど、明るく未来の創造に向けた社会づくりに貢献してきた。

パラスポーツへの関わりも早く、今年で10年目を迎えたパラスポーツを応援する“ふくのわプロジェクト”がスタートしたのは2016年のこと。当時は東京2020パラリンピック競技大会開催が決定していたものの、パラスポーツの認知度は決して高くはなかった。そうしたなか何プロジェクトを設立した背景について、担当者から伺った。

「日本の衣類の廃棄量は年間約100万トンと非常に多いのですが、一方でリユースやリサイクルについてはほとんど進んでいないのが現状です。その理由は、古着の買取価格が安価なために高買する方が売ると思われていたり、古着の回収方法が地域によって異なるため浸透していないことが挙げられます。当社のそうした業務を統括していた専任の社員が、「自分のためとなると上がらない言い値も、誰かの役に立つとなれば行動に移すようになるのでは」という仕組みを作ったのではと気づいたのが始まりでした。ちょうど東京パラリンピックへの準備が少しづつ進み始めていた時期ということもあり、不要な衣類の再利用（パラスポーツを応援する）“ふくのわプロジェクト”が2016年にスタートしました。」

寄付の方法は3つある。まずは専用サイトで宅配キット“おうちでふくのわ”を購入し、専用の袋に梱包して送るという方法。また自宅にあるボールなどに梱包したものを近所にある提携先企業の指定倉庫に直接送ることもできる（送料負担）。さらに都内を中心にスポーツ施設や公共施設には“ふくのわBOX”を設置しており、そこへ直接持ち込む方法もある。

“ふくのわBOX”は、産経新聞社の本社がある東京サンケイビル（千代田区大手町）にも設置されており、誰でも自由に衣類を持ち込むことができる。日々、社内でも認知度が高まり、今では本誌への寄附品になると自宅から不要な衣類を持ち込む社員の姿をよく見かけるようになった。

回収した衣類は1ヶ月当たり7円（提携倉庫に直接送付の場合は10円）で専門業者が買い取り、マレーシアにある提携の工場へ輸送されて運別される。パンクワッシュやバスタンなど海外アジアを中心に世界16カ国でリユース販売されている。日本からの古着は買取り、現地で人気が高い。

また、産経新聞社では年に数回、大手町の一画で“ふくのわマルシェ”を実施し、回収した衣類のリユース販売会を行っている。オープンスペースのため、同社社員に限らず、一般の方も購入することができる。徐々にリピーターも増え、社員からはこれ“ふくのわマルシェ”で購入した服なんですよと感謝の言葉を届けることもあるという。プロジェクトメンバーにとっては、そうしたひとがモチベーションの一つになっている。



パラスポーツ交流事業で生まれる笑顔と輝き

さて、これまで回収した衣類は、2025年1月時点で累計約1250トンにのぼり、その収益金からパラバレーボール、パラ水泳、知的障害者水泳、パラカヌー、パラパワーリフティングの5つの競技団体に寄付している。

さらに収益金の一部を活用し、学校などでパラアスリートと触れ合いながらパラスポーツ体験をする交流会を、年1回ほど開催している。参加者が好評で、特に子どもたちは目を輝かせながら競技のデモンストレーションにまじりこみ、質疑応答の時間にはたくさん手が挙がる。

「東京大会をきっかけに現在もオリパラ教育に熱心に取り組まれている学校も多いのですが、実際に選手と触れ合う機会が少ないので、こうしたイベントはとても喜ばれています。特に子どもたちがアスリートの皆さんが目の前でパフォーマンスを目を輝かせているのを見るのが、こうしたイベントの意義を感じます。またアスリートの皆さんにとっても、子どもたちの反応を間近で感じられるのは嬉しいようです。イベントを通じて応援してくれる人たちが増えて、それが大きな励みや強みになるということをよく耳にします。」

2024年には、都内の小学校において、東京2020パラリンピックで日本人最高位の6位入賞を果たした、パラパワーリフティングの宇根遥選手などの交流授業（<https://adv.sankei.com/case/13192>）を実施した。

「宇根選手には東京パラリンピックで6位入賞した際の賞状を持参していただき、子どもたちに見せていたいです。私たちも初めて見たので感動したのですが、子どもたちも大喜びでした。選手シャークも見せていただいたので帰り際には「着たい」「着たい」と言って着替わってくださったんです。宇根選手自身も東京大会は無観戦だったので、目の前で子どもたちに喜んでもらえてとても嬉しかったとおっしゃっていました。弊社としてそうした場を提供していただいていることをとてもありがたしく感じましたし、今後こうした企画開催の機会をつくりたいと改めて思っています。」

また“ふくのわプロジェクト”により、この9年間でパラスポーツの競技団体とのつながりも深まっています。寄付先の競技団体では衣類の回収や、アスリートとの交流の場の提供にも協力し、率先して協力してくれる関係性が築かれています。

さらに、社会課題解決の促進という意味でも、何プロジェクトの意義は大きい。衣類のリユースが、ゴミ削減だけでなく、パラスポーツの支えにもつながっていることを知り、“ふくのわプロジェクト”を寄付先に先ず自治体も増えている。

こうした意義に広がりを見せている“ふくのわプロジェクト”だが、「まだまだ認知度を上げていかなければいけない」と担当者も語る。持続可能な事業とするためにも、さらに輪を広げていくことが最大の課題だ。

「おかげさまで少しずつ知っていただけるようになってきましたが、認知度としては正直まだまだと感じています。誰もが入った衣類を手放す時が来ます。その時にゴミとして処分するのはなく、ふくのわプロジェクトが買ったと思われ、行動に移してくださる人が1人でも増えて、1枚でも多くの衣類を寄付していただけるようにしていきたいと思っています。その積み重ねが収益金の増加となり、その分パラスポーツ競技団体を応援することができます。そして、其の社会の実現へとつながっていきます。今後はさまざまな企業様や競技団体、都府、地方自治体などの共創ネットワークを広げていき、“ふくのわプロジェクト”をさらに発展させていきたいと思っています。」

1枚の服が“福”の輪に――。
そんな思いが込められた“ふくのわプロジェクト”が、「U-SPORT PROJECT」コンソーシアムへ加わり、さらに全国へと広がることが期待される。

モデル創出事業の今をご紹介
プロジェクト進捗 Report

令和6年度の採択企業・団体

・一般社団法人アンリミテッド事業推進協会 ・岩手県 ・株式会社NHKエンタープライズ ・高知県 ・一般社団法人チーム ・アダブレーション
 ・学校法人電子学園 ・長瀬産業株式会社 ・一般社団法人日本ボッチャ協会 ・公益社団法人広島県パラスポーツ協会 ・北海道
 ・一般社団法人ミコらいどモルック協会



2025.03.27
高知県

「TRY!!!高知家インクルー
シブスポーツフェスタ
2024」を開催しました



2025.03.27
長瀬産業株式会社

【開催報告②】第3回
NAGASEカップ陸上競技
大会 当日施策のご紹介



2025.03.27
一般社団法人日本ボッチャ協
会

【開催報告】第9回全国ボ
ッチャ選抜甲子園



2025.03.27
長瀬産業株式会社

【開催報告①】第3回
NAGASEカップ陸上競技
大会を開催

[記事一覧を見る >](#)

プロジェクト進捗 Report



高知県

2025.03.27

「TRY!!高知家インクルーシブスポーツフェスタ2024」を開催しました



長瀬産業株式会社

2025.03.27

【開催報告②】第3回NAGASEカップ陸上競技大会 当日実施のご紹介



一般社団法人日本ボッチャ協会

2025.03.27

【開催報告】第9回全国ボッチャ選抜甲子園



長瀬産業株式会社

2025.03.27

【開催報告①】第3回NAGASEカップ陸上競技大会を開催



株式会社NHKエンタープライズ

2025.03.27

【開催報告】第2回小学生ボッチャ競技会



北海道

2025.02.07

北海道インクルーシブパークin選庁赤れんが



一般社団法人アンリミテッド事業推進協会

2024.12.10

2024 アンリミテッドスポーツフェスティバル実施いたしました



一般社団法人チームアダプテーション

2024.11.14

【開催報告】障害者スポーツ団体と創るスポーツを通じた障害理解イベント



一般社団法人チームアダプテーション

2024.11.14

【開催報告】アダプテッド・スポーツ教室「PLAYFUL HUB」

TOP > プロジェクト進捗 Report > 「TRY!!高知家インクルーシブスポーツフェスタ2024」を開催しました

2025年03月27日

高知県

「TRY!!高知家インクルーシブスポーツフェスタ2024」を開催しました



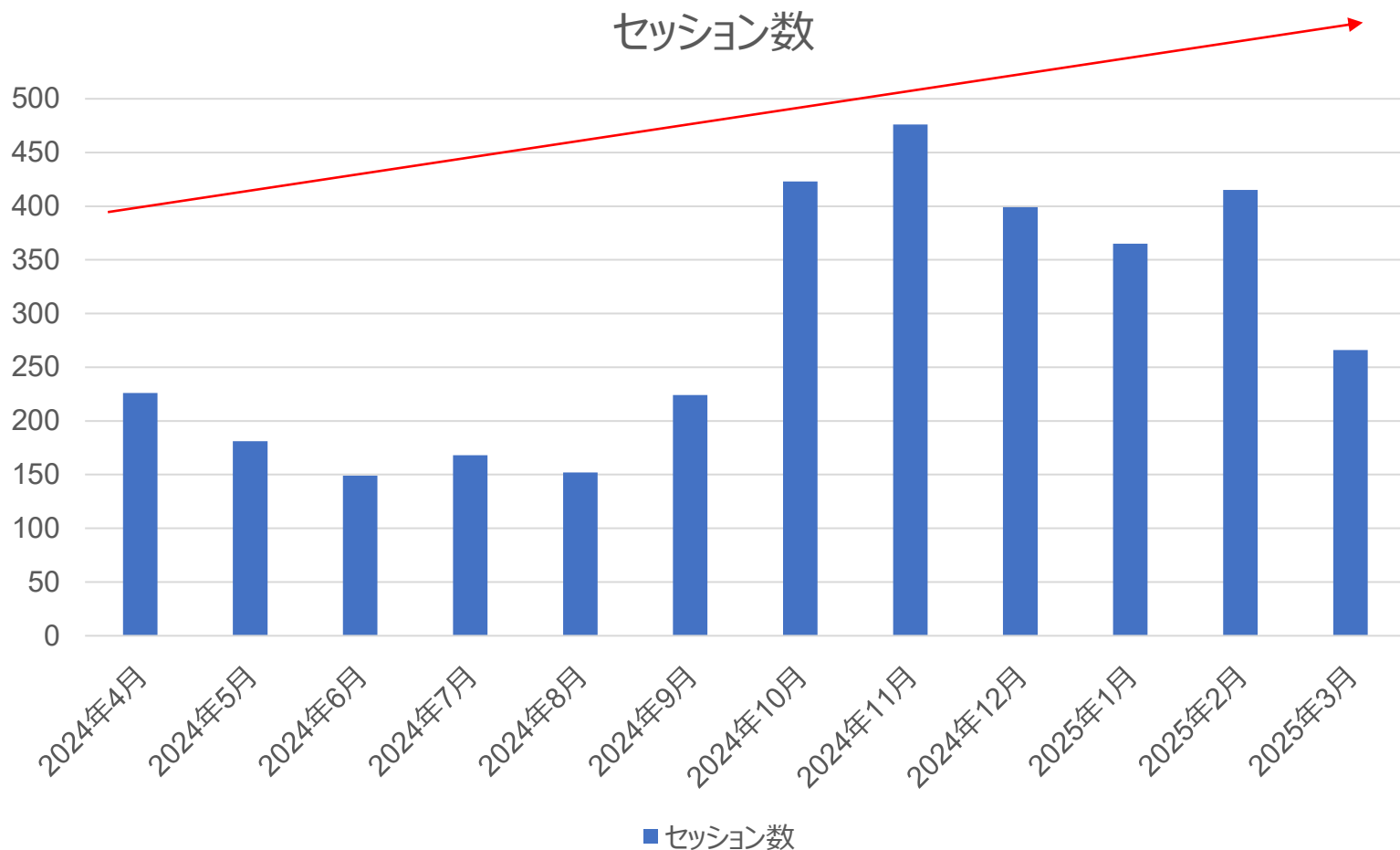
バラスポーツをもっと身近に!障害の有無に関わらず、子どもから高齢者まで誰もが参加できる、「する」「みる」「ささえる」すべてが一緒になったインクルーシブスポーツの祭典を高知県で初めて開催しました。

【実施内容】

①子どもから大人まで誰でも参加できる車いすラグビー大会
応募した誰もが一緒に参加できる車いすラグビー大会を開催。午前の部は子どもたちで作った4チーム対抗戦、午後の部は大人も子どもも「ごちゃまぜ」にした4チームで試合を実施。参加者全員がそれぞれの目標を掲げ、「相手に勝つよりも自分に立つ」をテーマに、楽しく競い合いました。



2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月	2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月	2025年2月	2025年3月	セッション合計数
226	181	149	168	152	224	423	476	399	365	415	266	3,444



コンテンツの更新が増えるようになり、セッション数も増加

■ 投稿内容 : プロジェクト全体

2024年3月27日



2024年4月12日



2024年6月14日



■ 投稿内容 : プロジェクト全体

2024年7月24日



2024年7月26日

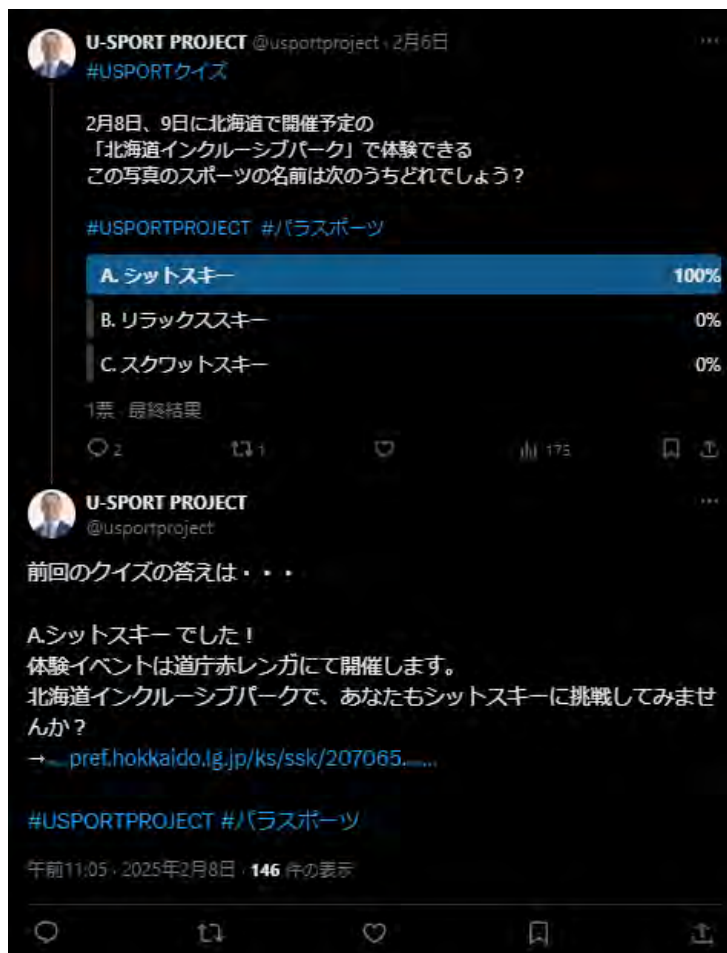


2024年7月31日



■ 投稿内容 : クイズ等

2025年2月6日(クイズ)～2月8日(答え)



U-SPORT PROJECT @usportproject · 2月6日
#USPORTクイズ

2月8日、9日に北海道で開催予定の「北海道インクルーシブパーク」で体験できるこの写真のスポーツの名前は次のうちどれでしょう？

#USPORTPROJECT #パラスポーツ

A. シットスキー	100%
B. リラックススキー	0%
C. スクワットスキー	0%

1票 最終結果

2 1 175

U-SPORT PROJECT @usportproject

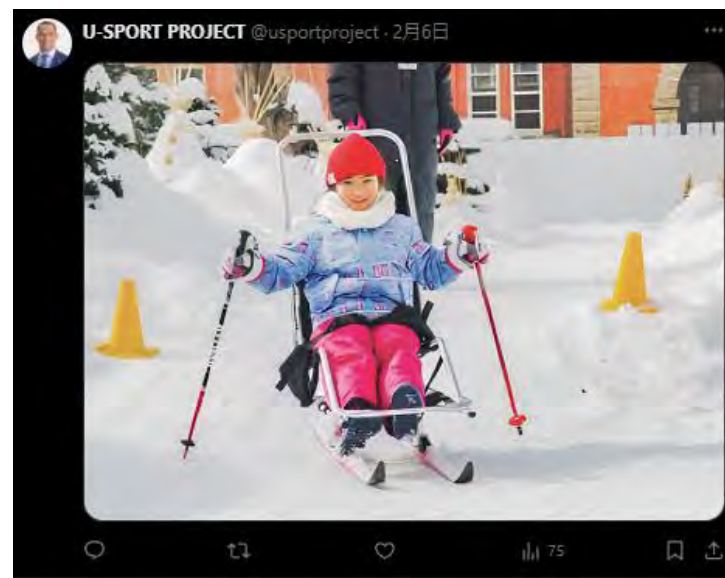
前回のクイズの答えは・・・

A.シットスキー でした！
体験イベントは道庁赤レンガにて開催します。
北海道インクルーシブパークで、あなたもシットスキーに挑戦してみませんか？
→ pref.hokkaido.lg.jp/ks/ssk/207065.....

#USPORTPROJECT #パラスポーツ

午前11:05 · 2025年2月8日 · 146 件の表示

2025年2月6日



U-SPORT PROJECT @usportproject · 2月6日

75

■ 投稿内容 : クイズ等

2025年2月12日(クイズ)～2月19日(答え)

U-SPORT PROJECT @usportproject

#USPORTクイズ

パリで熱戦が繰り広げられた最新のパラリンピック！
さて、パリ2024パラリンピックで実施された競技はどれでしょう？

#USPORTPROJECT #パラスポーツ

A. 車いすラグビー	33.3%
B. シットイングバレーボール	0%
C. ゴールボール	66.7%

3票・最終結果
午後0:01 · 2025年2月12日 · 84 件の表示

U-SPORT PROJECT @usportproject · 2月19日

前回のクイズの答えは・・・

ABCすべて正解 でした！
ほかにどんな競技があるのかぜひチェックしてみてください！

#USPORTPROJECT #パラスポーツ

2025年3月12日(クイズ)～3月19日(答え)

U-SPORT PROJECT @usportproject

#USPORTクイズ

年齢、性別、障害のあるなしにかかわらず
すべての人が一緒に競い合えるスポーツとして
幅広い世代で人気の高まっている“ボッチャ”
発祥の地はどこでしょう？

#USPORTPROJECT #パラスポーツ #ボッチャ

ヨーロッパ	79.5%
アジア	15.9%
アフリカ	4.5%

44票・最終結果
午後0:23 · 2025年3月12日 · 818 件の表示

U-SPORT PROJECT @usportproject · 3月19日

前回のクイズの答えは・・・

A.ヨーロッパ でした！
古くからある球技を起源とし、重度障害者も楽しめるように考案されたスポーツです！

#USPORTPROJECT #パラスポーツ #ボッチャ

■ 投稿内容 : コンソーシアム等

2024年10月16日



2024年11月20日



2024年11月20日

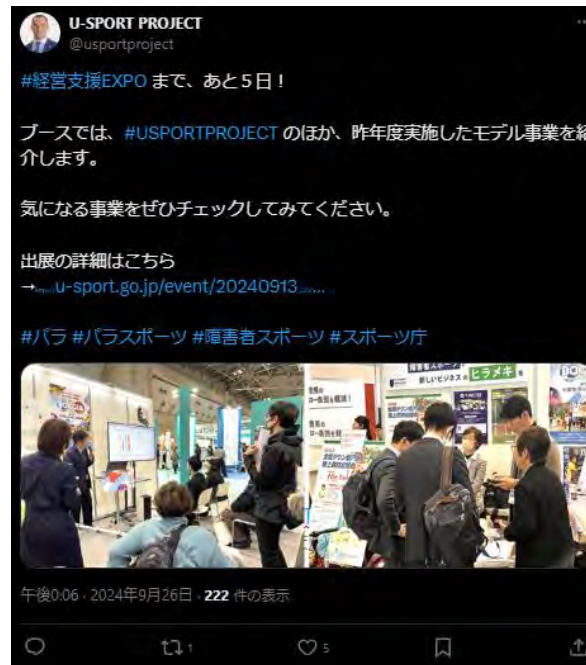


■ 投稿内容 : EXPO等

2024年9月25日(東京)



2024年9月26日(東京)



2024年9月27日(東京)



■ 投稿内容 : EXPO等

2024年9月30日(東京)



2024年10月2日(東京)



■ 投稿内容 : EXPO等

2024年9月30日(東京)



2024年10月2日(東京)



2024年10月2日(東京)



■ 投稿内容 : EXPO等

2024年10月3日(東京)



2024年12月13日(大阪)



■ 投稿内容 : EXPO等

2024年12月19日(大阪)



2024年12月20日(大阪)



■ 投稿内容 : 大会告知等

2024年6月14日



2024年6月19日



■ 投稿内容 : 大会告知等

2024年6月21日



2024年6月19日



■ 投稿内容 : 大会告知等

2024年6月28日

U-SPORT PROJECT @usportproject

【学校法人電子学園】

全国各地で、パラダンスのイベントを開催しました！
車椅子を、デジタル技術により前後左右に自由に遠隔操作を可能にすることで、障害の有無に関わらず参加いただくことができました。

詳しくはこちら u-sport.go.jp/model/20240118.....

#障害者スポーツ #パラ #パラスポーツ #ダンス



午後0:01 · 2024年6月28日 · 134 件の表示

U-SPORT PROJECT @usportproject · 2024年6月28日

#スポーツ庁 #USPORTPROJECT

57

2024年7月3日

U-SPORT PROJECT @usportproject · 2024年7月3日

【クオールホールディングス株式会社】

公園・浴道・商業施設の広場等のオープンスペースを活用し、障害者サッカーやウォーキングフットボールの体験イベントを実施しました！

詳しくはこちら u-sport.go.jp/model/20240118.....

#障害者スポーツ #パラ #パラスポーツ #ウォーキングフットボール #サッカー



1 3 120

U-SPORT PROJECT @usportproject

#スポーツ庁 #USPORTPROJECT

午後0:01 · 2024年7月3日 · 59 件の表示

2024年7月10日

U-SPORT PROJECT @usportproject

【公益財団法人 B&G財団】

4つの自治体で「インクルーシブクラブ」を立上げ、障害の有無に関わらず、ポッチャやモルックなどのスポーツをともに楽しむ交流イベントを開催しました！

詳しくはこちら u-sport.go.jp/model/20240118.....

#障害者スポーツ #パラ #ポッチャ #モルック



午後0:29 · 2024年7月10日 · 168 件の表示

1 2

U-SPORT PROJECT @usportproject · 2024年7月10日

#パラスポーツ #インクルーシブ #スポーツ庁 #USPORTPROJECT

67

■ 投稿内容 : 大会告知等

2024年7月12日

U-SPORT PROJECT @usportproject

【北海道】

北海道の気候を生かした屋外パラスポーツイベントを開催しました！
雪上で行う #ボッチャ や座って行うスキー (#シットスキー) など、障害の有無にかかわらず雪の中でも楽しめるイベントになりました。

詳しくはこちら
u-sport.go.jp/model/20240118...

#障害者スポーツ #パラ #パラスポーツ



午後0:03 · 2024年7月12日 · 119 件の表示

U-SPORT PROJECT @usportproject · 2024年7月12日
 #ボッチャ #スキー
 #スポーツ庁 #USPORTPROJECT

2024年7月5日

U-SPORT PROJECT @usportproject

【広島県パラスポーツ協会】

「インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2023」を開催しました！パラスポーツ体験会やパラアスリートによるトークショーなどを行い、障害の有無に関わらず参加者誰もが共に楽しめる大会となりました。

詳しくはこちら
u-sport.go.jp/model/20240118...

#障害者スポーツ



午後0:00 · 2024年7月5日 · 96 件の表示

U-SPORT PROJECT @usportproject · 2024年7月5日
 #パラ #パラスポーツ #パラアスリート #インクルーシブ #スポーツ庁 #USPORTPROJECT

2024年7月17日

U-SPORT PROJECT @usportproject

【一般社団法人日本ボッチャ協会】
第8回全国ボッチャ選抜甲子園を開催しました！
初参加校6校を含む合計43校が参加し、山梨県、京都府、高知県からは初めてのエントリーとなりました。また、試合の様子はYouTube配信も行いました。

詳しくはこちら
u-sport.go.jp/model/20240118...

#障害者スポーツ #パラ

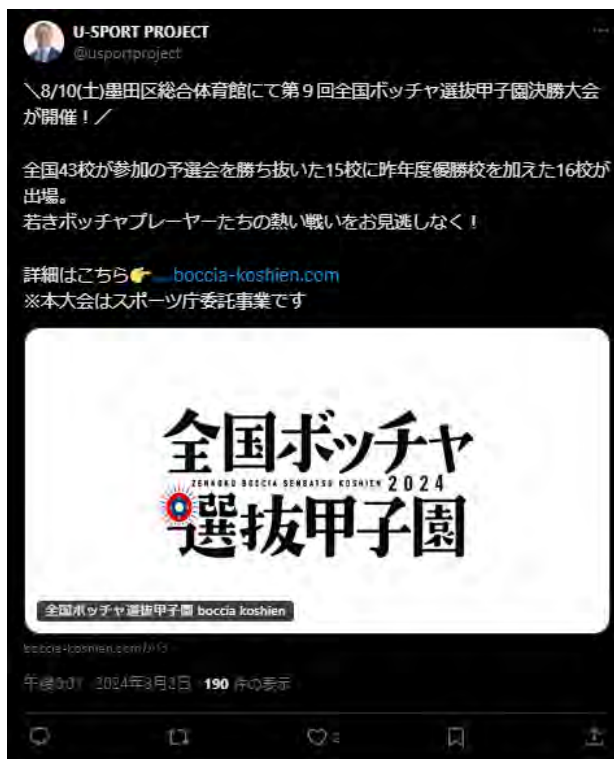


午前11:59 · 2024年7月17日 · 180 件の表示

U-SPORT PROJECT @usportproject · 2024年7月17日
 #パラスポーツ #ボッチャ
 #スポーツ庁 #USPORTPROJECT

■ 投稿内容 : 大会告知等

2024年8月2日



2024年8月7日



2024年8月13日



■ 投稿内容 : 大会告知等

2024年8月16日



2024年8月21日



2024年8月23日



■ 投稿内容 : 大会告知等

2024年9月6日

U-SPORT PROJECT
@usportproject

【広島県パラスポーツ協会】

11/16～17の2日間、広島県福山市周辺で『インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島 2024』を開催します！

フェスタ開催に先立ち、9/17～19に「ユニバーサル野球」の体験会を福山市内の学校で開催します！

体験会、大会の詳細はこちら
hpsa.info/lp/isfh2024/



写真提供：堀江車輛電装株式会社 HIROSHIMA

午前 11:59 · 2024年9月6日 · 295 件の表示

U-SPORT PROJECT @usportproject · 2024年9月6日
 #障害者スポーツ #パラ #パラスポーツ #ユニバーサル野球 #スポーツ庁 #USPORTPROJECT #インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2024

2024年9月13日

U-SPORT PROJECT
@usportproject

進捗レポート更新！

【一般社団法人アンリミテッド事業推進協会】
 障害の有無や年齢に関係なく楽しめるスポーツ大会
 「アンリミテッドスポーツフェスティバル」を開催予定！
 安心安全に参加いただけるよう、本番に向けて開催会場の現地調査等を実施しました。

レポート→



2024 アンリミテッド スポーツ フェスティバル | U-SPORT PROJECT

午後 0:01 · 2024年9月13日 · 109 件の表示

U-SPORT PROJECT @usportproject · 2024年9月13日
 #障害者スポーツ #パラ #パラスポーツ #陸上 #eスポーツ #ボッチャ #モルック #スポーツ庁 #USPORTPROJECT

2024年9月18日

U-SPORT PROJECT
@usportproject

進捗レポート更新！

【日本ボッチャ協会】
 全国ボッチャ選抜甲子園は、特別支援学校等の生徒が参加する全国規模のボッチャ大会です。
 大会を通じ、ボッチャの定着やスポーツへの参加意識向上、将来のボッチャ選手発掘の機械となることを目指しています！

レポート→



午後 0:03 · 2024年9月18日 · 172 件の表示

U-SPORT PROJECT @usportproject · 2024年9月18日
 #障害者スポーツ #パラ #パラスポーツ #ボッチャ #スポーツ庁 #USPORTPROJECT

■ 投稿内容 : 大会告知等

2024年10月9日



2024年10月11日



■ 投稿内容 : 大会告知等

2024年10月18日

U-SPORT PROJECT @usportproject

進捗レポート更新！

【ミニらいとモルック協会】
大阪各地の全6会場で、ミニらいとモルックの体験会を開催しました！
軽くて握りやすいというミニらいとモルックの特性を生かし、年齢や障害の有無に関係なく、たくさんの方楽しんでいただくことができました。

u-sport.go.jp/progress_report



午前11:59 · 2024年10月18日 · 106 件の表示

U-SPORT PROJECT @usportproject · 2024年10月18日
#USPORTPROJECT #パラスポーツ #スポーツ庁 #ミニらいとモルック


2024年10月23日

U-SPORT PROJECT @usportproject

進捗レポート更新！

【広島県パラスポーツ協会】
インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2024（11/16-17開催）のプレイベントとして、小中学校及び特別支援学校で『ユニバーサル野球を活用した学校授業』を開催！


u-sport.go.jp/progress_report



午後0:02 · 2024年10月23日 · 144 件の表示

U-SPORT PROJECT @usportproject · 2024年10月23日
フェスタ当日の各種体験会も申し込み受付中です！
hpsa.info/or/isfn2024/

#USPORTPROJECT #パラスポーツ #スポーツ庁 #ユニバーサル野球



hpsa.info
インクルーシブ・スポーツ・フェスタ広島2024
年齢・性別・障害の有無を問わず、誰でもパラスポーツを体験できる参加型のイベント「インクルーシブ...

■ 投稿内容 : 大会告知等

2024年11月15日

U-SPORT PROJECT
@usportproject

【岩手県】

ポッチャと卓球バレーの体験教室及び交流大会を県内各地で開催します！
いずれも障がいの有無や年齢に関わらず参加可能な、インクルーシブなイベントです。

#障害者スポーツ #バラ #パラスポーツ #ポッチャ
#卓球バレー #スポーツ庁 #USPORTPROJECT

午後0:00 · 2024年11月15日 · 256 件の表示

2024年11月22日

U-SPORT PROJECT
@usportproject

進捗レポート更新
【チームアダプテーション】

アダプテッドの精神で、みんな一緒に、からだを動かそう！！

＼スポーツ教室PLAYFUL HUBを開催／

障害のある人が参加しやすいイベントがもっと広がるために、指導者の育成にも取り組んでいます。

u-sport.go.jp/progress_report

午後0:00 · 2024年11月22日 · 208 件の表示

U-SPORT PROJECT @usportproject · 2024年11月22日
#USPORTPROJECT #パラスポーツ #スポーツ庁

2024年11月27日

U-SPORT PROJECT
@usportproject

進捗レポート更新
【チームアダプテーション】

アダプテッド？合理的配慮？聞き慣れない言葉に、より良いスポーツ環境を考えるヒントが。
障害疑似体験 やトークセッションを通じて、障害を理解するイベントを実施！

u-sport.go.jp/progress_report

#USPORTPROJECT #パラスポーツ #スポーツ庁

午後0:05 · 2024年11月27日 · 113 件の表示

■ 投稿内容 : 大会告知等

2024年11月29日



2024年12月11日

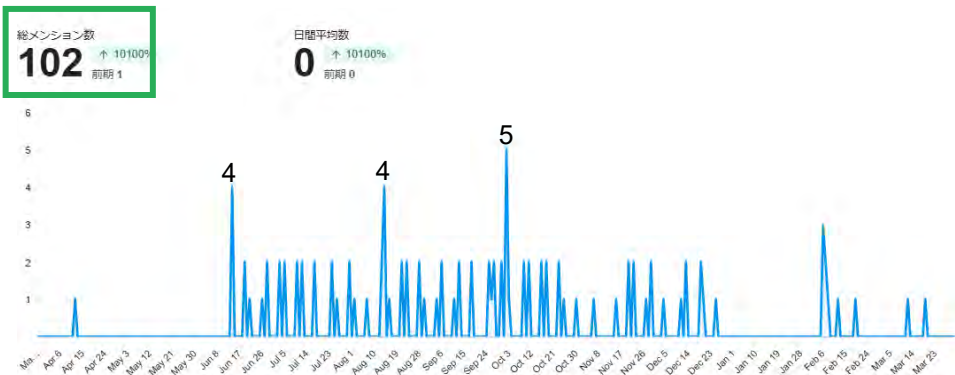


2024年2月7日



■ 分析結果

全投稿数

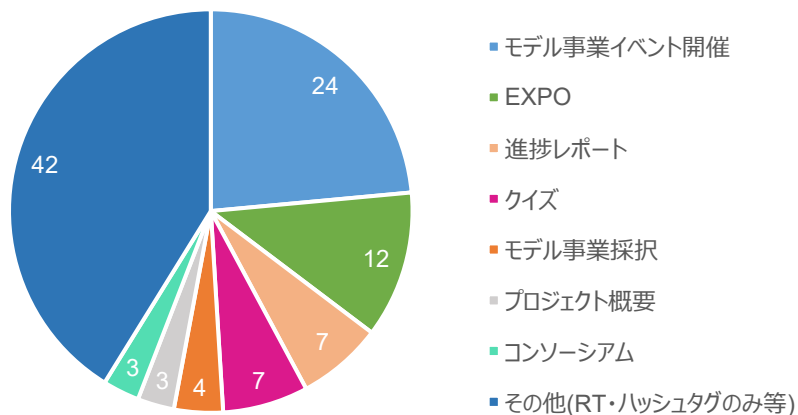


リーチ数

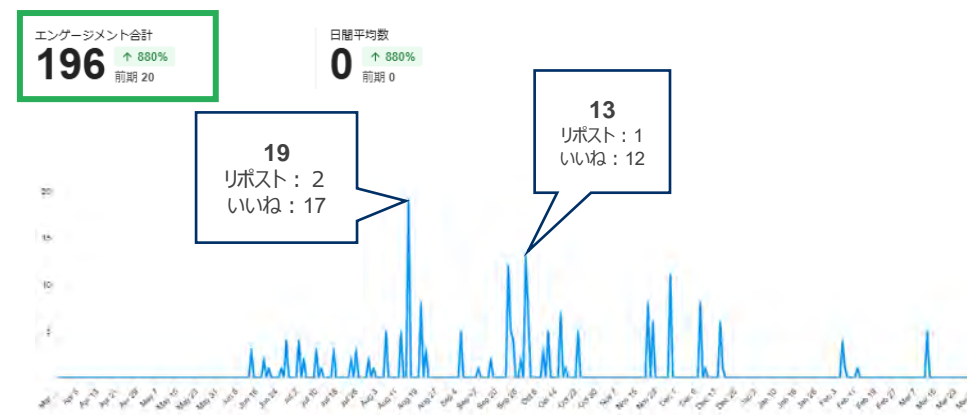


投稿内容カテゴリ

全投稿数：102件



エンゲージメント



※投稿にツリー形式でつけられたハッシュタグ、他のアカウントの投稿をRTした場合も投稿数としてカウントされる。

■ 分析結果

	投稿数	いいね数	リポスト	閲覧数
モデル事業イベント開催	24	57	11	3206
EXPO	12	38	6	1394
進捗レポート	7	10	2	365
クイズ	7	3	2	389
モデル事業採択	4	1	1	69
コンソーシアム	10	10	2	573
プロジェクト概要	3	19	3	4752
その他(RT・ハッシュタグ)	42	7	0	341

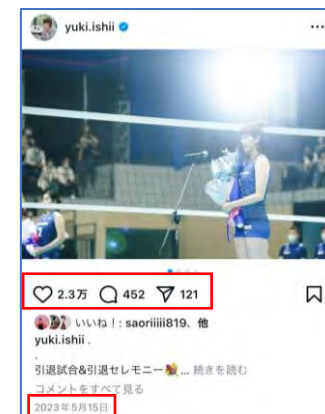
起用インフルエンサー

石井 優希
Yuki Ishi

元バレーボール選手

生年月日:1991年5月8日
出身地 :岡山県倉敷市
出身校 :就実高校

2010年、久光スプリングス(久光製薬スプリングス含む)に入団し、中心選手として多くのタイトル獲得に貢献。2017-18年シーズンにはMVPも獲得する。2011年に日本代表に選出され、主力としてもプレーし、2016年のリオデジャネイロ、2021年の東京オリンピックに出場。2023年に現役を引退後は、バレーボール教室やメディア・イベント出演などを通じて、バレーボールの魅力を伝える活動を行っている。



X(旧ツイッター)
フォロワー数 6.1人
(9月5日現在)

https://x.com/kuu_yuk1



Instagram
フォロワー数 9.6万人
(9月5日現在)

<https://www.instagram.com/yuki.ishii/>

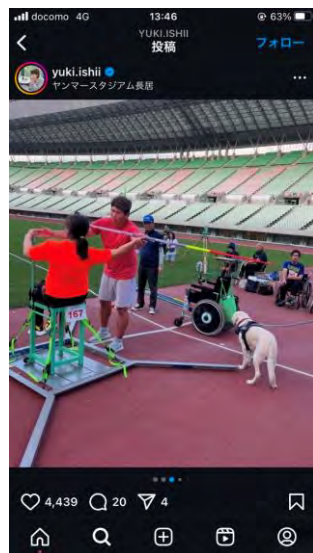
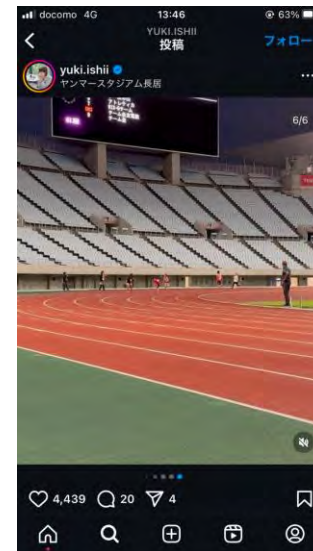
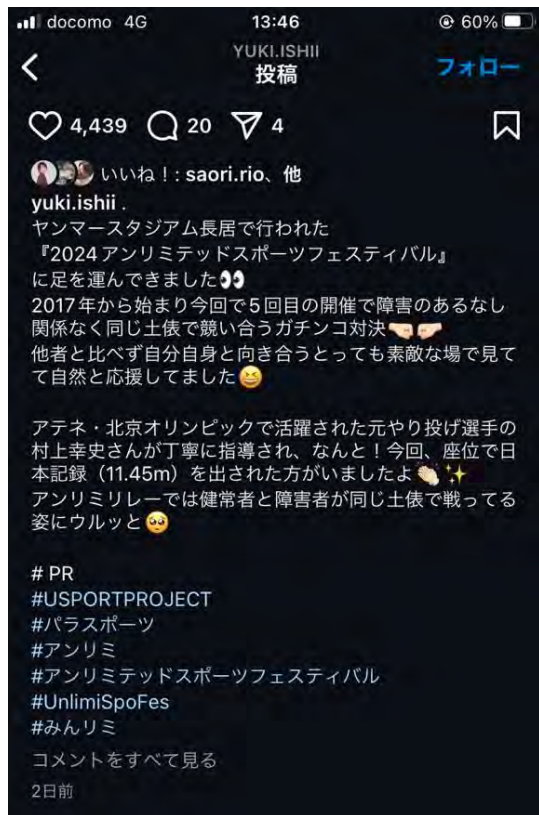
アンリミテッド スポーツ フェスティバル 体験取材

日程:9月14日(土)16:00~20:00

場所:ヤンマースタジアム長居

当日投稿

9月14日終了後



リーチ(フォロワー数)	AVE(広告換算値)	コメント	リアクション(いいね数)
96677	894.26	20	4975

使用ハッシュタグ

- # PR
- # USPORTPROJECT
- # パラスポーツ
- # アンリミ
- # アンリミテッドスポーツフェスティバル
- # UnlimiSpoFes
- # みんなリミ

■ インクルーシブ大会告知

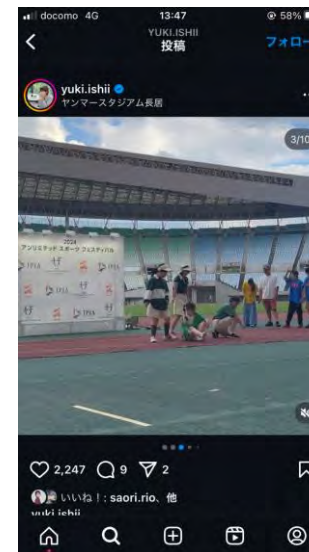
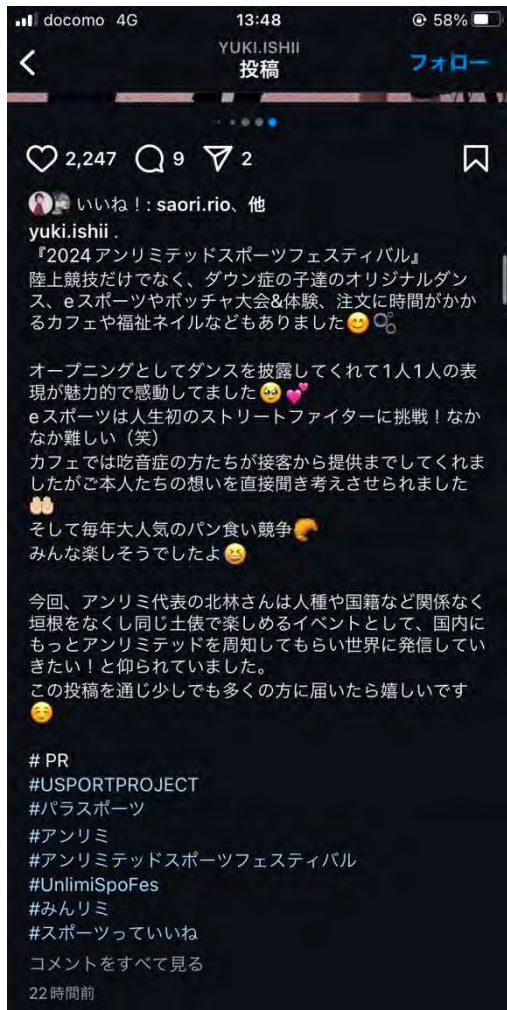
当日投稿 付いたコメント



■ インクルーシブ大会告知

事後投稿①

9月15日投稿



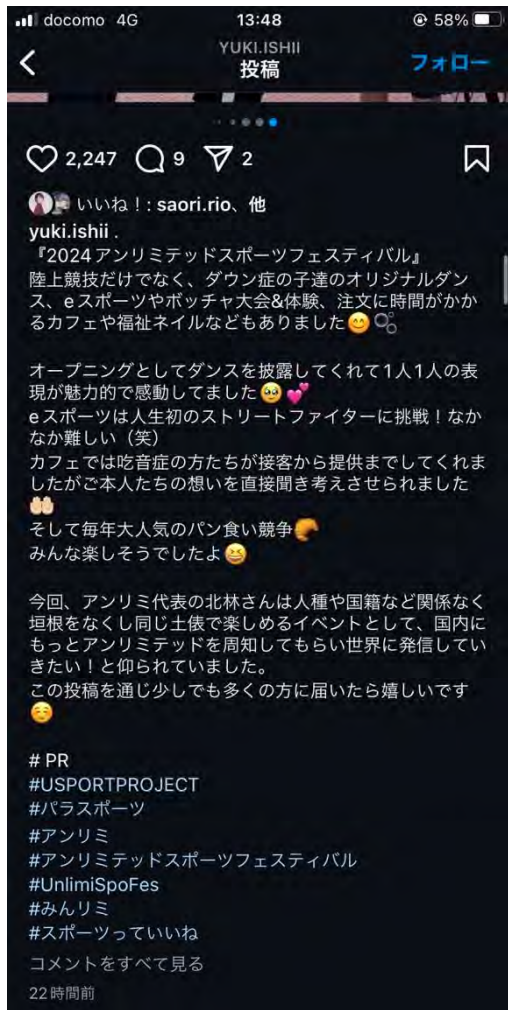
使用ハッシュタグ

- # PR
- # USPORTPROJECT
- # パラスポーツ
- # アンリミ
- # アンリミテッドスポーツフェスティバル
- # UnlimiSpoFes
- # みんなリミ
- # スポーツっていいね

■ インクルーシブ大会告知

事後投稿②

9月15日投稿



F(フォロワー数)	AVE(広告換算値)	コメント	リアクション(いいね数)
96677	894.26	10	2730

使用ハッシュタグ

- # PR
- # USPORTPROJECT
- # パラスポーツ
- # アンリミ
- # アンリミテッドスポーツフェスティバル
- # UnlimiSpoFes
- # みんリミ
- # スポーツっていいね

■ インクルーシブ大会告知

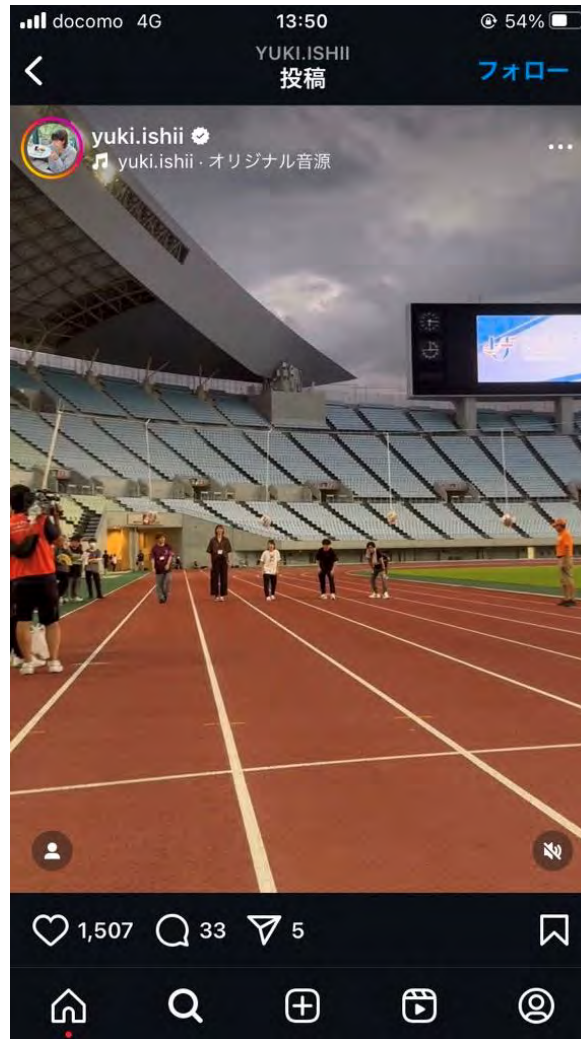
事後投稿① 付いたコメント



■ インクルーシブ大会告知

事後投稿②

9月15日投稿



リーチ(フォロワー数)	AVE(広告換算値)	コメント	リアクション(いいね数)
96677	894.26	37	1901

使用ハッシュタグ

- # PR
- # USPORTPROJECT
- # パラスポーツ
- # アンリミ
- # アンリミテッドスポーツフェスティバル
- # UnlimiSpoFes
- # みんなリミ
- # パン食い競争
- # 相変わらず走り方が変

■ インクルーシブ大会告知

事後投稿② 付いたコメント



■ インクルーシブ大会告知

事後投稿② 付いたコメント



■ インクルーシブ大会告知

The image displays a grid of social media content related to the '2024 Anrimitted Sports Festival'. It includes three main posts from the Instagram account 'yukishii' and three corresponding analytics screenshots.

Post 1 (Top Left): A text-based announcement for the festival. The text includes the hashtag #PR #USPORTPROJECT #パラスポーツ #アンリミ #アンリミテッドスポーツフェスティバル #UnlimiSpoFes #みんりみ #パン食い競争 #相変わらず走り方が変. The analytics show 98.7k reach, 1.94k engagement, and a neutral sentiment.

Post 2 (Middle Left): A text-based announcement celebrating the festival's success. The text mentions '2024アンリミテッドスポーツフェスティバル' and highlights the participation of athletes with Down syndrome. The analytics show 98.7k reach, 2.74k engagement, and a positive sentiment.

Post 3 (Bottom Left): A text-based announcement about the festival's location at the Yanmar Stadium. The text mentions '2017年から始まり今回で5回目の開催' and 'ガチンコ対決'. The analytics show 98.7k reach, 5k engagement, and a positive sentiment.

Analytics Screenshots (Right Column): Three screenshots showing the sentiment analysis for each post. The first shows a neutral sentiment (ニュートラル), the second shows a positive sentiment (ポジティブ), and the third shows a positive sentiment (ポジティブ).

■ インクルーシブ大会告知

投稿反響(X)

X上投稿推移

<検索条件>

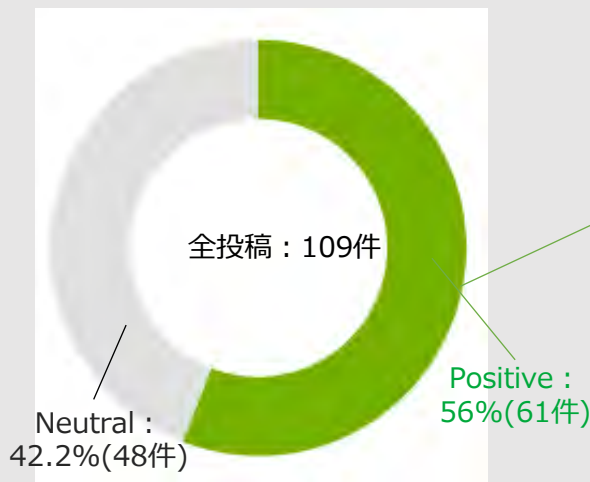
- キーワード：アンリミテッドスポーツフェスティバル
- 検索期間：2024/9/11～2024/9/17

<使用ツール>

Meltwater



X上投稿ポジネガ



ポジティブ投稿内キーワード

読売テレビさん イベント スポーツ大会
 ヤンマースタジアム長居 ボッチャ体験
 メダルスタート パン食い 健全者
 指ボール **スポーツ** thanks to
 無制限 手作り 皆さん ごちゃ
 アンリミテッドスポーツフェスティバル
 アンリミテッド live配信 eスポーツ体験

※ネガティブ投稿0件

■ インクルーシブ大会告知

X上実際のポジティブ投稿

<検索条件>

- ・ キーワード：アンリミテッドスポーツフェスティバル
- ・ 検索期間：2024/9/11～2024/9/17

<使用ツール>

Meltwater



■ インクルーシブ大会告知

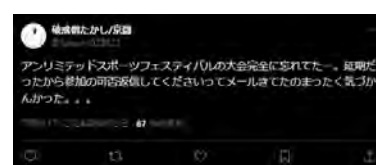
X上実際のニュートラル投稿

〈検索条件〉

- ・ キーワード：アンリミテッドスポーツフェスティバル
- ・ 検索期間：2024/9/11～2024/9/17

〈使用ツール〉

Meltwater



■ インクルーシブ大会告知

プロジェクトWEBサイトへのバナー掲出



～障がい者も健常者も年齢制限もないごちゃま～

注目のインクルーシブ大会はこちら



障害者スポーツを推進する企業・団体も紹介

「U-SPORT PROJECT」
公式アカウントで発信中



Contact

お問い合わせ

お問い合わせフォーム >



U-SPORT PROJECTとは?

コンソーシアム
モデル創出事業
ピックアップ情報

お問い合わせ

プライバシーポリシー
利用規約

- ✓ 初年度として、**57団体**の加盟を獲得。
- ✓ パラスポーツ団体の獲得が一番進まなかったという印象。
- ✓ 一番の課題は、パラスポーツ団体の担当者の多忙。メールや電話といったコミュニケーションツールを使った営業手法が通用しないため、**新たな手法**を取り入れる必要あり。
- ✓ 例えば、何かのついで、例えば、パラスポーツ団体の集まりの**ついでにアプローチ**、学会やイベントのついでにアプローチといった手段もあり得る。一方で、そうしたイベントの起点となるパラスポーツの統括団体（パラサポやパラネット）もどちらかという現場に近いと、パラスポーツ団体に遠慮や配慮があり、強いアプローチが出来ないといった別の課題もある。
- ✓ 実際に、交流会などに来ていただくと、企業－パラスポーツ団体の会話も進むことから、こうしたパラスポーツ団体の方々に**横展開、お勧めしていただく**のが、他のパラスポーツ団体に広げていくためには有益と思われる。
- ✓ 今後、本格化するコンソーシアム活動において、**パラスポーツ団体向けの施策を強化**することで、パラスポーツ団体にコンソーシアムのメリットを感じてもらうことで、芋づる式に加盟が増える可能性がある。

ターゲティング精度を向上させた
デジタル広告



メディアの理解を促進させる
PR活動

③モデル創出事業

令和6年度「障害者スポーツ推進プロジェクト(障害者スポーツの実施環境の整備等に向けたモデル創出事業)」につき、書類審査および審査会を踏まえて採択通知を出し、契約手続きを行います。

公募期間	4/12 (金) ~5/2 (木) 17:00	
応募書類取りまとめ (事務局)	5/7 (火)	5月8日 (水) 中に審査員の皆様へ審査書類をメール送付
書類審査 (審査員)	5/8 (水) ~5/16 (木)	応募書類をご確認いただき、採点したエクセルデータ (採点案) を事務局メールまでお戻しいたします
集計・整理 (事務局)	5/17 (金) ~5/20 (月)	
審査会	5/21 (火) 16:00~17:00	オンラインにて協議を行い、各審査員の採点結果を確定し、採択団体を決定します
採択団体決定通知	6/5 (水)	
契約締結・事業開始	6月上旬頃~順次 ※契約交渉、スポーツ庁再委託承認後	

日	月	火	水	木	金	土
4/28	4/29	4/30	5/1	5/2	5/3	5/4
公募期間				公募締切		
5/5	5/6	事務局 取りまとめ	事務局より 応募資料送付	採点		
5/12	5/13	5/14	5/15	採点表を 事務局へご提出	事務局にて 集計・整理	5/18
5/19	事務局にて 集計・整理	審査会	審査会コメント整理/通知準備			

取組テーマ： 企業と競技団体による障害者スポーツ大会や特別支援学校等が参加する全国大会、インクルーシブなスポーツ大会の整備

一般社団法人アンリミテッド事業推進協会

■ 実施概要

名称 2024アンリミテッドスポーツフェスティバル

コンセプト “Unlimited!!”
インクルーシブ社会の未来に向かって「人として成長できる」機会・経験の場

会場 ヤンマースタジアム長居 (〒546-0034 大阪府大阪市東住吉区長居公園1-1)
1F: スタジアム、屋内練習場他

日程 2024年8月31日 (土)
→日程延期: 2024年9月14日 (土)
※開会式 : 16:00~(一部予選等は昼から開催)
※会場借用時間 : 9:00~21:00

来場者数 総来場者人数: 4,500人
・関係者人数:200人 / ・来賓、VIP人数:100人
・選手人数:166人 / ・イベント参加人数:1,820人 / ・観覧者:2,600人
※予定動員5000名に対し、今回、台風10号襲来の影響により2週間の延期の結果、参加者・出展者・出演者の一部が不参加となり若干数減少した結果、約4500名の参加となった。
(述べ 数値として計上)

過去実績 ※2023年度実績: 1,500人
※2022年度、2021年度、2020年度コロナ中止
※2019年度実績: 2,200人
※2018年度実績: 1,572人
※2017年度実績: 3,215人



実施内容

競技関係(事前エントリー競技)

事前エントリーにてご参加いただき、**公式記録測定**を行う3種のカテゴリー



陸上競技大会



eスポーツ大会



専門スポーツ大会

イベント関係(当日参加型)

競技参加者、来場者が当日申込、**自由参加いただく**カテゴリー



ブースイベント



競技イベント企画

(名義関係)

主催 一般社団法人アンリミテッド事業推進協会

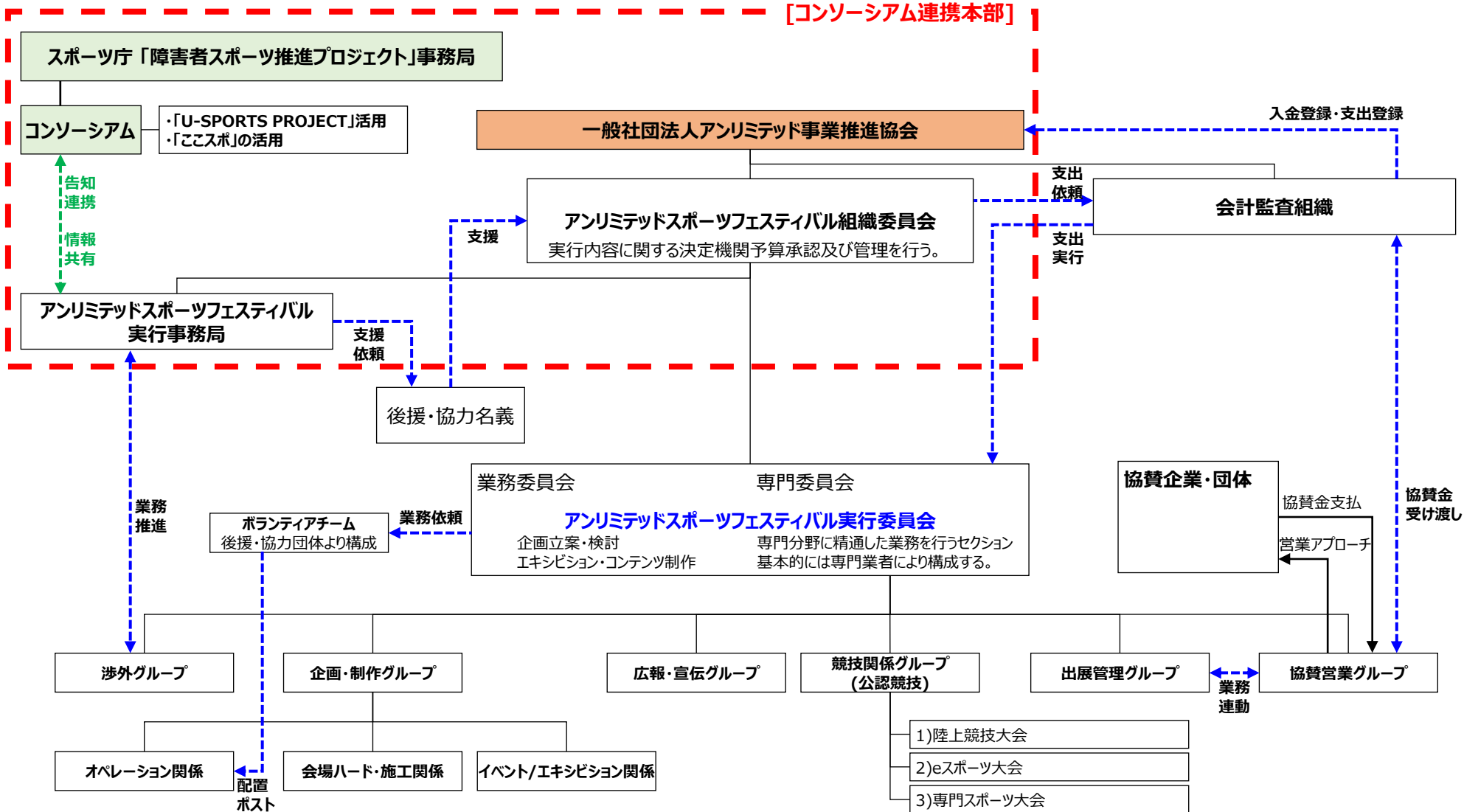
協力 スポーツ庁(スポーツ庁委託事業)、ASA Filims、株式会社アビ、株式会社アワハウス、一般社団法人ウタのタネ、川村義肢株式会社、学校法人玉手山学園 関西福祉科学大学、株式会社クリアヴィータ、神戸電子専門学校、株式会社JTB、シンク・ファンズ株式会社、株式会社テクリオ、帝塚山学院大学女子サッカー部、株式会社TRINITY、株式会社BBANDSB&CO.、東住吉区青少年指導員協議会、株式会社マッシュ、一般社団法人メディア・ファ、ONE TRIBE

後援 大阪府、大阪市、公益財団法人大阪観光局、一般社団法人大阪障がい者eスポーツ協会、大阪府eスポーツ連合、大阪ポッチャ協会、公益財団法人大阪陸上競技協会、近畿パラ陸上競技協会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、一般社団法人日本障がい者eスポーツ協会、大阪市東住吉区、讀賣テレビ放送株式会社

主管 アンリミテッド スポーツ フェスティバル実行委員会
(審判運営: 一般財団法人大阪陸上競技協会)

■ 事業スキーム

スポーツ庁「障害者スポーツ推進プロジェクト」事務局様とは、「実行事務局」を中心に連携を行い、また、告知宣伝の実務については「実行事務局」と「広報・宣伝グループ」が連携し行った。



■ 実施体制図

現場でのイベント組織体系は民間企業が中心となり、業務を推進いたしました。
 ボランティアは専門的なボランティアチーム及び、運営側面をフォローいただくボランティアチームを立ち上げ、運営いたしました。
 また、8/31(土)が荒天 ※台風による、警報発令に伴い、9/14(土)に延期し実施したため、一部中止や担当を調整いたしました。

※凡例：黄色部分

※延期に伴い、
担当要調整箇所



(関係者総人数:200名)
 運営管理 : 9名
 ボランティア : 31名
 競技運営 : 40名
 出展者 : 100名
 出演関係 : 20名

■ 事業の成果と考察

モデル創出事業予算を、課題であった「広報不足」に対し注力を行ったことで、2017年から始まった本事業で初めて、メディアリリースを行なうことができ、また広報・メディア露出の結果を数値化（広告価値換算）できたため、次年度に向けたベースとして、取り組みたいと考えております。

○プレスリリース配信

- ・「@Press」「PR TIMES」より、2024年8月1日&8月22日の各2回、計600件を配信。
- ・関連記者クラブに投函。地元メディアに個別プロモート。計60件にアプローチ。

○メディア掲載報告（広告価値換算）

- ①「@press」より掲載されたWEBメディア = 計86 媒体 (11,672,238円)
※広告価値換算は@pressによる算出値を採用
- ②「PR TIMES」より掲載されたWEBメディア = 計72 媒体 (9,772,056円)
※広告価値換算は@pressによる平均単価を基に、72媒体分として独自に算出
- ③その他メディア掲載 = 計9媒体 (2,321,414円)

掲載メディア数 = 合計167媒体
広告価値換算合計 = 23,765,708円

媒体名	広告価値換算	データリンク
公明新聞	300,000円	添付記事
CHALLEATH	135,723円	https://challeath.com/detail.php?rid=910
読みテレ	210,000円	https://www.yomitv.jp/tlkQJ
読みテレ	210,000円	https://article.yahoo.co.jp/detail/ba337043e072e08d01d7b74a9e5ee516abf30b64
読みテレ	210,000円	https://news.mynavi.jp/article/20240912-3023925/
愛媛新聞	92,000円	https://www.ehime-np.co.jp/article/post202409170001
ovo	13,691円	https://ovo.kyodo.co.jp/ch/humhum/a-2008663
石井優希さん（インスタグラム）	900,000円	https://www.instagram.com/yuki.ishii/
あすリートチャンネル	250,000円	https://ytv-athlete.jp/lives/29835

※公明新聞 = 推定広告費用を基に算出
 ※読みテレ = 「PR TIMES」広告価値換算の「読売テレビ」の一番ランクが低い数値「210,000円（15秒）」を採用（転載メディアも同様とした）
 ※愛媛新聞 = 「PR TIMES」広告価値換算の「愛媛新聞」の「23,000円 1cm 1段×4段（推定）」を採用
 ※ovo = 「@press」による算出値を採用
 ※石井優希さん（インスタグラム）、あすリートチャンネル = 1フォロワーあたり3円として換算



公明新聞掲載記事

- 次年度以降の計画 2025年度は2025年 日本国際博覧会の会場での開催が決定しており、開催に向けた実施準備及び、予算調達を調整いたしております。

名称	2025アンリミテッドスポーツフェスティバル
コンセプト	“Unlimited!!” インクルーシブ社会の未来に向かって「人として成長できる」機会・経験の場
会場	メイン会場：2025年 日本国際博覧会 EXPOアリーナ「Matsuri」 サブ会場：ヤンマースタジアム長居



日程	2025年7月24日（木） ※メイン会場は7/23に設営
----	---------------------------------

実施内容	● 競技カテゴリー(事前エントリー競技) 事前エントリーにてご参加いただき、公式記録測定を行うカテゴリー 陸上競技、特定競技(ポッチャ等)、 オンライン/デジタル系競技(eSports)の3分類を実施する。
	● イベント/エキシビジョンカテゴリー(当日参加型) 競技参加者、来場者が当日申込、自由参加いただくカテゴリー スポーツ競技エキシビジョン、体験型エキシビジョン、 当日参加(エントリー)型イベントの3分類を実施する。

来場者 (目標)	10,000人
	※2024年度実績：4,500人
	※2023年度実績：1,500人
	※2022年度、2021年度、2020年度コロナ中止
	※2019年度実績：2,200人
	※2018年度実績：1,572人 ※2017年度実績：3,215人

名義関係

主催	一般社団法人アンリミテッド事業推進協会
協 (予 定)	ASA Filims、株式会社アビ、株式会社アワハウス、一般社団法人ウタのタネ、川村義肢株式会社、株式会社クリアヴィータ、神戸電子専門学校、株式会社JTB、シンク・ファンズ株式会社、株式会社テクリオ、株式会社TRINITY、株式会社BBANDSB&CO.、東住吉区青少年指導員協議会、株式会社マッシュ、一般社団法人メディ・ファ、ONE TRIBE、学校法人関西医療学園関西医療学園専門学校、スポーツ庁
後 (予 定)	大阪府、大阪市、公益財団法人大阪観光局、一般社団法人大阪障がい者eスポーツ協会、大阪府eスポーツ連合、大阪ポッチャ協会、公益財団法人大阪陸上競技協会、近畿パラ陸上競技協会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、一般社団法人日本障がい者eスポーツ協会、大阪市東住吉区、読賣テレビ放送株式会社
主 管	アンリミテッド スポーツ フェスティバル実行委員会 (審判運営：一般財団法人大阪陸上競技協会)
協 (予 定)	一般社団法人 JPIA、合同会社SUNNY、株式会社エニシジャパン、縁起焼、関西医療学園専門学校、合同会社クリアースカイ、住友電設株式会社、株式会社デイリー・インフォメーション関西、東亜道路工業株式会社 関西支社、マグチグループ株式会社、リサイクルジャパングループ株式会社、ワールドマスターズゲームズ2021関西組織委員会、T's Create(株)、くれないクリニック、株式会社サンリフォーム、株式会社ストック・ソリューション、摂津倉庫株式会社、株式会社Charm、株式会社トーア
* 広告代理店契約	

取組テーマ： 企業と競技団体による障害者スポーツ大会や特別支援学校等が参加する全国大会、インクルーシブなスポーツ大会の整備

NHKエンタープライズ

■ 小学生ボッチャ競技会とは

ボッチャを通じて 共生社会について学ぶ インクルーシブな競技会

小学生ボッチャ競技会では、障害がある
児童とない児童でチームを組みます。
子どもたちは、チームメイトとの
コミュニケーションを通じて、
共生社会について大切なことを学びます。



チームは3年生から6年生の4人～6人で構成。そのうち2人以上は、特別支援学級
または特別支援学校に在籍する児童であることが参加条件。

■ 事業概要

「第2回小学生ボッチャ競技会」には、26チームが参加。

129名の選手のうち、58名が特別支援学級・特別支援学校の児童でした。

都内3つの特別支援学校でブロック予選を行い、勝ち上がった6チームと千葉県、新潟県からの招待チームを合わせて、8チームによる本戦が2024年9月16日に渋谷区スポーツセンターで実施されました。



- 主 催：株式会社NHKエンタープライズ、株式会社NHKアート、
社会福祉法人NHK厚生文化事業団
- 協 力：一般社団法人日本ボッチャ協会
- 後 援：東京都、渋谷区、NHK、東京都立特別支援学校長会、
東京都特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会
- 特別協賛：湖山医療福祉グループ
- 協 賛：株式会社アポワテック、インフロニア・ホールディングス
株式会社、東日本旅客鉄道株式会社（50音順）
- 協力パートナー：朝日小学生新聞、株式会社バンダイ（50音順）
- 委託事業：スポーツ庁委託事業
「令和6年度 障害者スポーツ推進プロジェクト」
- 放 送：2024年10月19日（土）午後3時～4時
NHK Eテレ

■ 実施概要

予選

8月25日（日）Aブロック 東京都立花畑学園

8月31日（土）Bブロック 東京都立光明学園

8月24日（土）Cブロック 東京都立府中けやきの森学園



24チーム 122名参加
（うち55名が特別支援学級・
特別支援学校の児童）

本戦

9月16日（月・祝）渋谷区スポーツセンター

各ブロック上位2チームと新潟県・千葉県からの招待チーム
計8チームが出場 優勝は新潟県の「ラッキーピース」



8チーム 42名参加
（うち17名が特別支援学級・
特別支援学校の児童）

■ 実施の様子

力を合わせて勝利を目指す



上段3点：戦略について知恵を出し合う

ボッチャにおいて勝利の鍵は、選手同士のコミュニケーションです。戦略について相談し仲間のミスをカバーする。ともに勝利を目指すなかで、自然と支えあう関係が生まれます。

下段2点：喜びを分かち合う

■ 実施の様子

子どもたちの変化



大きな音に敏感な仲間の耳を覆ってあげる



力を合わせる選手たちへ大きな声援と拍手

足立区立足立小学校のレポート

○子どもたち同士がかかわる機会が増えた

通常学級と支援学級の児童が、友達の名前を覚え、校内ですれ違った時に「○○くん！」「よっ！」と声を掛け合う姿が日常的に見られるようになりました。ポッチャ競技会に参加していなければ、このようなやり取りを見ることはできませんでした。

○校内の放課後スポーツクラブに新しく「ポッチャ」が追加された。

ポッチャが、サッカー・バスケットボールに並ぶスポーツとなりました。週1回、通常学級の5・6年生と特別支援の4～6年と一緒にポッチャを楽しんでいます。

参加選手保護者からのお便り

今年のメンバーを昨年と比較すると一名だけ入れ替わったのですが、その一名というのは特別学級の選手が障害の重い選手に入れ替わったというものでした。チーム力という点では落ちましたし、わが子としては自分のプレー以外で気をつかわなければならない状況で、集中力を保つのが大変だったようです。ただこうした機会がなければ、障害のある子どもと接するということがどうということなのかを知ることも無かったであろうと思いますので、わが子が成長していく過程で非常に良い経験をさせていただいたと感謝しています。

■ 第3回小学生ボッチャ競技会計画

【名称】第3回小学生ボッチャ競技会

【主催】小学生ボッチャ競技会実行委員会

【協力】一般社団法人日本ボッチャ協会

【後援（予定）】東京都、NHK、東京都立特別支援学校長会、東京都特別支援学級・通級指導教室設置学校長協会

【協賛】特別協賛、協賛、協力パートナー

【委託事業（予定）】スポーツ庁・パラスポーツ推進プロジェクト

【実施方法】

2025年度は東京都に限っていた予選参加エリアを神奈川県、千葉県、埼玉県に拡大して実施。

(1) 予選：8月下旬 東京都内

東京都に加え、神奈川県、埼玉県、千葉県からの参加チーム、計40チーム程度で予選を実施。

(2) 本戦：9月中旬 東京都内スポーツ施設

予選の上位チームに加え、上記の4都府県以外からの招待チームの参加も検討。

【参加資格】

(1) 選手は、東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県に所在の小学校や団体に所属する3年生から6年生までの児童4名～6名。

(2) チーム編成は、通常の学級に在籍する児童と、特別支援学級または特別支援学校に在籍する児童による合同チームとし、特別支援学級または特別支援学校に在籍する児童を2名以上含むことを原則とする。

【スケジュール】

(1) 2025年2月下旬 情報解禁

(2) 2025年5月～7月 参加チーム公募

(3) 2025年8月下旬 予選

(4) 2025年9月中旬 本戦（NHK番組収録予定）

取組テーマ： 企業と競技団体による障害者スポーツ大会や特別支援学校等が参加する全国大会、
インクルーシブなスポーツ大会の整備

高知県

■ 事業概要

事業の趣旨

- 本県における障害者スポーツの取組の多くは**障害者だけの活動に留まっており**、障害者が生涯にわたってスポーツに親しむことができるようにするためには、障害の有無に関わらず、誰もが一緒に楽しめる**インクルーシブなスポーツ活動を増やす**ことが必要である。
- 本県の特徴である**車いすラグビー**を活用した取組のノウハウを生かし「**障害者スポーツ**」を「**障害者がするスポーツ**」としてだけでなく、障害の有無に関わらず参加できるインクルーシブなスポーツ活動として、競技ルールや用具等を適応（アダプテッド）し、スポーツ関係団体だけでなく企業など多様な関係者が参画し（ユニバーサル）連携しながら取り組む、**障害者スポーツを推進する新たな形として発信**する。
- 安全・安心に配慮した体験会プログラムや大会ルールを検討することで、全ての方が楽しめる**インクルーシブなスポーツ活動のモデルケースを構築**する。
- 本事業終了後も、県と多様な関係者が連携し、将来的に様々な障害者スポーツに本事業で得たインクルーシブな活動の**ノウハウを取り入れ事業の横展開**を目指す。

学校等で実施する
車いすラグビー体験会

- 障害者スポーツの理解啓発や大会の参加を促す
- 子どもに関わる人材（教員や保護者等）にスポーツを通じて共生社会の理解を深める

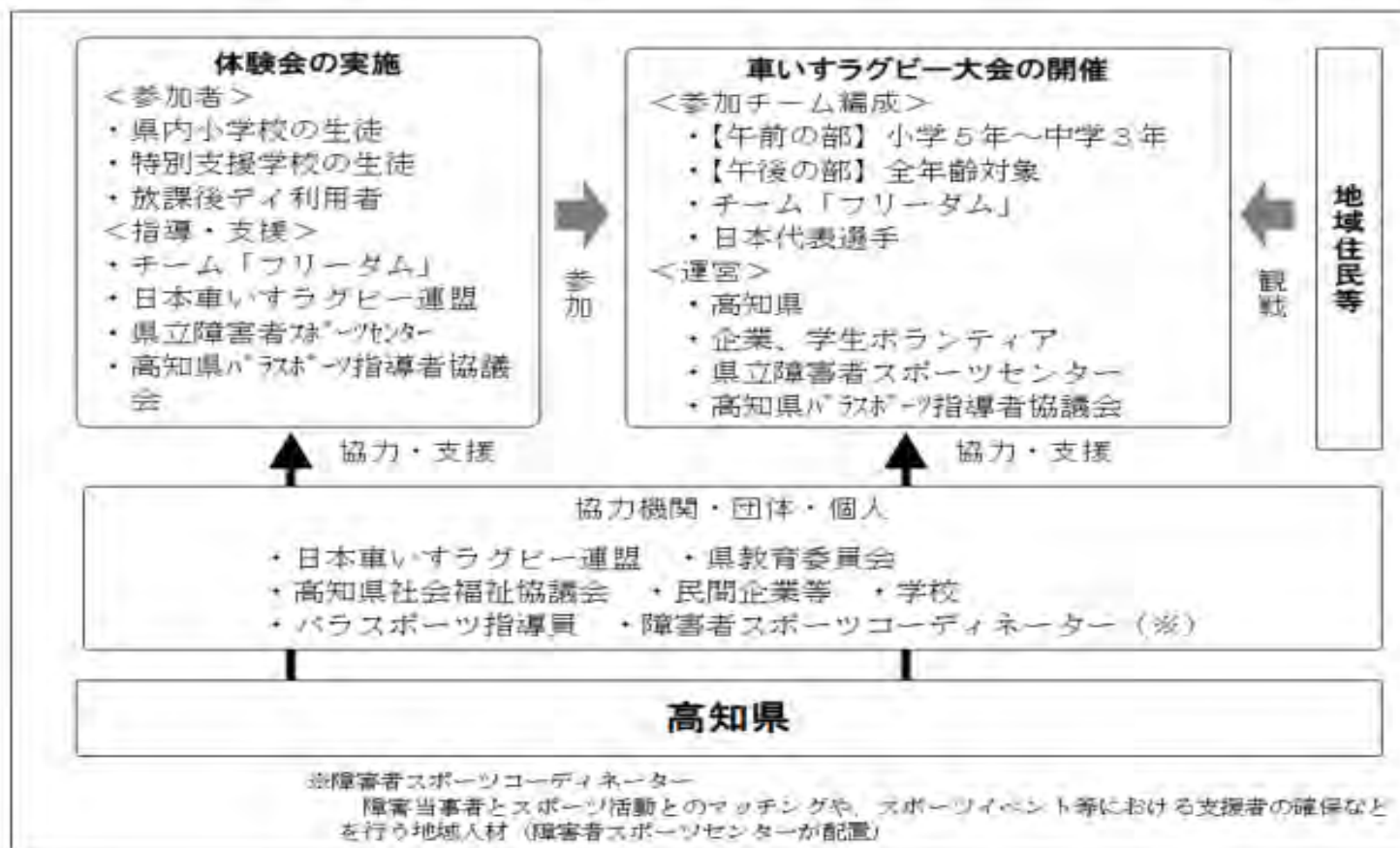
インクルーシブな
車いすラグビー大会

- 障害の有無、年齢、性別に関わらず誰もが参加できる大会とする
- 既存のルールにとらわれず、参加者が安全・安心・主体的にスポーツを楽しむことのできる形とする

スポーツをささえる
人材の取組紹介

- スポーツを「する」「みる」だけでなく、「ささえる」人材の取組を紹介することで、新たなスポーツへの関わりへのきっかけとする

■ 事業実施体制



【中心となる団体】

高知県...事業計画統括

県立障害者スポーツセンター ...指導員・コーディネーター斡旋など

チーム「フリーダム」...大会ルール助言、体験会講師など

【協力団体・協力者】

日本車いすラグビー連盟

高知県パラスポーツ指導者協議会

高知県社会福祉協議会

県教育委員会

高知市教育委員会

特別支援学校教員

一般社団法人Uプロジェクト

一般社団法人高知県スポーツコミッション

...トレーナー・メカニック派遣、広報協力、資料提供など

...指導員派遣など

...広報協力、スタッフ派遣など

...広報協力など

...広報協力など

...大会ルール助言、広報協力など

...体験会及び大会ルールの助言、広報協力など

...次年度以降の取組検討、横展開への助言など

■ 事業実施報告

TRY!! 高知家インクルーシブスポーツフェスタ2024

世界トップクラスの選手と闘争を体験しよう!!
パラ2024バレーボール日本代表と一緒に参加できる車いすラグビー大会開催!!
 参加者大募集

2024. **12.7** SAT
 9:00 START

参加費 無料 参加対象者 小学校5年生～中学生
 会場 ころしおアリーナ (高知市五台山1736番地1)

子どもから大人まで誰でも参加できる
 体験コーナーもあるよ! 詳細は裏面へ

パラスポーツ体験 お仕事体験ブース 車いす散歩ツアー

TRY!!～高知家インクルーシブスポーツフェスタ～

障害の有無にかかわらず、子どもから高齢者まで誰もが一緒になって参加できるインクルーシブスポーツの祭典を開催!
 さまざまなスポーツ体験コーナーや車いすの日常を体験できるイベント、スポーツを支える人たちの取り組みを紹介する体験型ブースなど、すべて無料で参加できます。

車いすラグビー大会 事前・当日受付 (対象: 小学5年～中学生)

第1部
 8:30～8:50 受付 (第1部受付終了後は第2部受付(～13:30)を開始します。)
 9:00 参加者集合
 9:00～10:00 体験(練習)
 10:00～12:00 試合

第2部
 ～13:20 受付終了
 13:30 参加者集合
 13:30～14:40 体験(練習)
 14:40～16:40 試合
 17:00～17:30 閉会

当日受付の体験コーナー (どなたでも参加OK!)

パラスポーツ体験 いろいろなパラスポーツを体験しよう!!
 体験型、体験型
 パラスポーツには誰でも気軽に楽しめるスポーツがいっぱい!!
 いろいろな車いすに乗って対峙しよう!!
 普段のスポーツとは違った楽しさが見えるかも?
 子どもも大人も、誰でも参加OK!!

お仕事体験型ブース スポーツを支えるお仕事って、どんなもの??
 パラスポーツの活躍の場には、いろいろなお仕事者が役に立っています。
 スポーツは「できる」だけじゃない!
 今回は、そんな「スポーツを支える人たちのリアル」お仕事も体験しよう!!
 体験してしよう!!

車いす散歩ツアー 日常にある「バリアフリー」は「車いすバリアフリー」?
 みんなが習得できなく歩いてる道に車いすにとっては危険がいっぱい!!
 パラスポーツと一緒に普段に出かけよう!!
 「誰もが安心安全に生活できる社会のために、できることは何?」を体験しよう!!
 小学生、中学生も参加可能!!

主催: 高知県観光振興スポーツ部
 後援: (一社) 日本車いすウチー運営
 協力: (社) 高知県社会福祉協議会
 高知県パラスポーツ協議会
 協賛: Freedom

学校等で実施する
車いすラグビー体験会

- ①香南市立吉川小学校 ②須崎市立安和小学校
- ③高知県立春野高校 ④放課後デイサービス4事業所
- ⑤高知市立はりまや橋小学校

■ 車いすラグビー体験

競技用車いすに乗って、鬼ごっこ、ドリブル、パス、スローム、タックル、チームに分かれて試合を体験。

■ 選手との交流

子ども達と選手が、競技のことや車いす生活について質疑応答することで障害や障害者スポーツに対する子ども達の理解を深める。



スポーツをささえる人材の取組紹介
パラスポーツ体験コーナー/車いす散歩ツアー

- お仕事体験型ブース: トレーナー、メカニックの仕事紹介、体験ブース
- パラスポーツ体験コーナー: 車いす体験(バスケット、ハンドサイクル、フレイムランナー)、フライングディスク、車いすフリースロー
- 車いす散歩ツアー: 会場の外を車いすで巡り、何気ない段差や傾斜、自動販売機の利用など車いすユーザーの日常を体験し、バリアフリーの意味や現状を知る車いす生活の疑似体験ツアー



■ 事業実施報告

年齢・性別・障害の有無に関わらず誰もが参加できる インクルーシブな車いすラグビー大会

日時：令和6年12月7日（土）

場所：くろしおアリーナ（高知市）

来場者数：約100人

大会参加者数：67人

（障害のある方：25人）

【午前の部】

Web申込フォームで事前募集した小～高で編成した4チームによる総当たり戦

【エキシビジョンマッチ】

フリーダム VS 日本代表選手

【午後の部】

当日受付で募集した全年齢対象で編成した4チームによる総当たり戦

【参加者同士の交流】

試合前にチーム毎の練習時間を設定
練習中に目標カードの記入・発表
チームの目標をみんなで考える

【選手との交流】

チームに入って一緒にプレイする
大会終了後、選手・参加者・スタッフ全員でフロアを清掃（タイヤ痕等の拭き掃除）

■ 目標カード

個人目標カード...チーム交流時間にそれぞれ記入し、チーム内で発表。
チーム目標カード...チーム交流時間に話し合って決める。試合開始前にチームリーダーが発表。

***	今日の目標
今日の目標	

■ 大会特別ルール

- ・1ピリオド3分の2ピリオド。インターバルは1分。
- ・試合は1チームにつき5人で行う。途中交代は自由。
- ・ドリブル及びパスまでの時間制限なし。
- ・40秒クロック制は適用しない。
- ・参加者はそれぞれ持ち点を有する。チームは持ち点の合計が均一になるように運営が編成する。持ち点表は以下のとおり。

	小4以下	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	それ以上
男	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
女	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

■ チーム編成例

	チームA	チームB	チームC	チームD
参加者	10	10	10	10
持ち点	8	9	8	8
	7	8	8	7
	6	4	3	4
	0	0	1	2
合計	31	31	30	31

なるべく均一になるように振り分ける



■ 成果と課題

成果

- インクルーシブスポーツが年齢や障害の有無に関わらず受け入れられていることや、インクルーシブな大会に関する興味関心が非常に高いことがわかり、今後の取組において本事業を重要なモデルとすることができた。
- 大会の開催において、地元パラリンピアンとの協力により県外パラアスリートの参画や中央競技団体（NF）との連携が円滑に実施でき、県域を越えた新たな関係性も構築できた。
- スポーツを「する」「みる」「ささえる」全ての視点で関わることのできる取組とすることができた。特に、「ささえる」人材にスポットをあてた取組への興味関心が高いことがわかった。
- 参加者同士の交流や目標カードの使用、観客・選手・スタッフ全員での床掃除など、会場にいた全員が主体的にスポーツに参加できる共生社会を体感・共有することができた。

課題

- 県において、インクルーシブスポーツは認知度が低いため、県民の理解を得てさまざまなスポーツ活動に取り入れられるよう、継続的かつ効果的な取組を検討することが必要。
- 「ささえる」人材の仕事や情報を効果的に伝えることができる取組の検討が必要。
- 地元企業の参画を促すため、SDGsや共生社会、まちづくりをキーワードに、企業が参画しやすく理解が得られやすいインクルーシブスポーツの推進や、企業間の情報交換の場づくりや企業が主体的に関わる取組の検討が必要。
- 県民のスポーツ参加拡大に向けて、スポーツが苦手であったり関心がない層に対し、スポーツへの多様な関わりを知ってもらうため、オープンスペースの活用や福祉、教育、観光などの多分野の知見を持ち寄る工夫が必要。

取組テーマ： 企業と競技団体による障害者スポーツ大会や特別支援学校等が参加する全国大会、インクルーシブなスポーツ大会の整備

長瀬産業株式会社

■ 事業概要・事業の実施体制

【NAGASEカップとは】

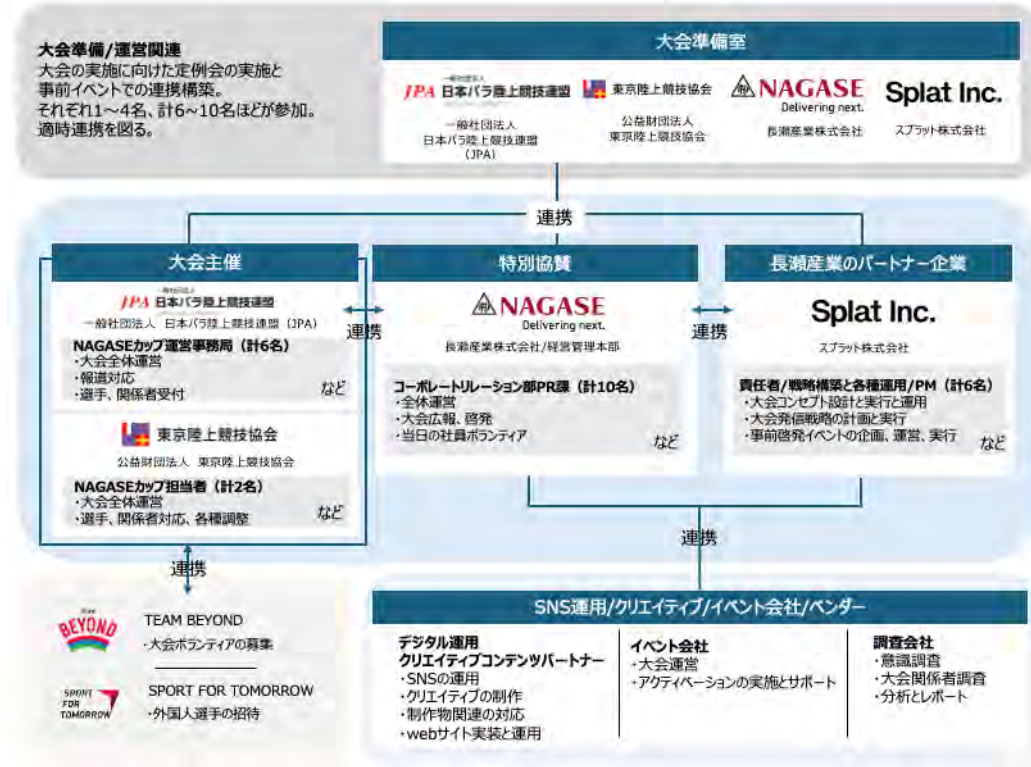
「誰もが参加できるインクルーシブな大会」をコンセプトとするWRkワールドランキング対象競技会・WPA公認の陸上競技大会。「年齢」「国籍」「障害の有無」にかかわらず包括的な参加を促進しており、大会本番に限らず、人の意識や行動の変化を促していく活動を通じて、障害のある人々に関する偏見や誤解を減らし、平等な社会の構築に貢献することを目的としている。

それぞれの違いを、スポーツを通して認め合い、相互理解し合うことで「インクルーシブの輪」が社会全体に広がっていく事を目指す。

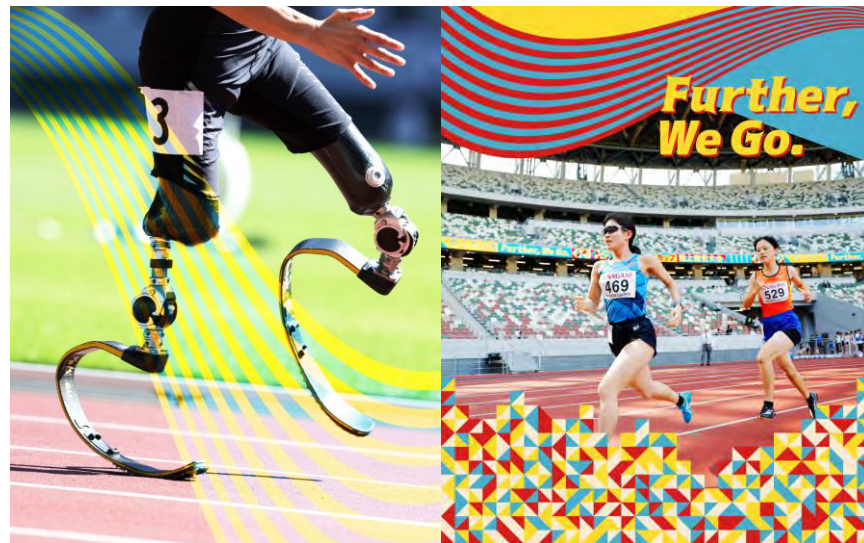
本プロジェクトでは、競技団体、企業、自治体をはじめ多くのステークホルダーが共創で取り組むことにより、社会の成長とともに、関係する組織や団体、企業の経済的価値、社会的価値の両面の向上に貢献するよう取り組んでいる。

「第3回NAGASEカップ」では、「インクルーシブの輪を広げる」を重点テーマとし、大会の設計を行った。

【事業の実施体制・スキーム】



「NAGASEカップ大会準備室」として主催団体である一般社団法人日本パラ陸上競技連盟（JPA）、公益財団法人 東京陸上競技協会、特別協賛企業である長瀬産業株式会社、長瀬産業のパートナー企業であるスプラット株式会社の4者でNAGASEカップの「大会準備室」として定期的に会議を行い、大会設計の段階から協働。



■ 事業の全体像

本事業で実施する内容は、大会コンセプトの浸透と機運醸成をはかる事前イベントと、大会本番の競技会実施と運営。
また本事業趣旨が加速するような取り組みを推進。

NAGASE CUP2024大会 事前イベントから大会本番まで（契約締結～）

定例会の実施

NAGASEカップの「大会準備室」として一般社団法人日本パラ陸上競技連盟（JPA）、公益財団法人 東京陸上競技協会、長瀬産業株式会社、スプラット株式会社による月次定例会。競技プログラムの設計、集客をはじめ大会の全体設計を協議し決定していく。

6月23日（日）実施

事前イベント：自治体/民間企業連携

2024年の大会事前イベントとして、晴海ふ頭公園での子供向けのパラアスリートによる出張授業・ブラインドラン体験イベントを実施。

大会

スタンプラリー、体験コーナー

国立競技場周辺もしくは新宿区内で実施検討中

10月12(土)、13日(日)

大会本番

大会の実施
施策の実施と運営



各種制作物の準備

発信活動①

メディアとの関係構築

メディアリレーションの実施
記者への情報提供、大会認知の拡大

発信活動②

各種Webサイトでの発信

大会公式Webサイト、「U-SPORT PROJECT」、
「ここスポ」を活用したコンテンツの発信

発信活動③

SNSでの発信

大会公式SNSアカウントを活用した
よりタイムリーなコンテンツの配信

■ 施策紹介：事前イベント

- 開催日 2024年6月23日（日）10:30-12:30
- 場所 晴海ふ頭公園内「O.GARDEN（オー・ガーデン）」（東京都中央区晴海5丁目8）
- 目的 大会の認知、機運の醸成とコンセプトの浸透
- ゲスト 和田伸也選手、長谷部匠選手（伴走）
- 参加者数 子供10名、保護者8名 計18名

【概要】

パラリンピアン直伝！

目の見えない世界でブラインドランを体験してみよう

晴海ふ頭公園内にある屋内施設「O.GARDEN」にて、パラリンピアン（和田伸也選手、長谷部匠選手）2名による出張授業とブラインドランの体験イベントを実施。

【成果】

- 当日、選手らに対して参加者から積極的にたくさんの質問が挙がり、パラアスリート・障害について理解を深める機会を提供することができた。
- 参加者からは、パラリンピアンとの距離感の近いイベントを喜ぶ声や、ブラインドランを体験した子供のみならず大人からも、「想像以上に怖く感じた」など新しい気づきがあったというコメントが多く寄せられた。
- 本イベントへメディア誘致活動も行い、その結果NHK（首都圏）の放送によってパラリンピックを目前に、共生社会へと繋がる文脈の露出を創出。テレビを通じて一般生活者へ向けた大会コンセプトの訴求が実現。



■ 施策紹介：大会本番での施策



The poster features a vibrant, colorful background with various athletic scenes. At the top left, the slogan "Further, We Go." is written in yellow. The central part shows several athletes in action: a female runner with a prosthetic leg (bib 555), a male runner with sunglasses (bib 312), a male guide (bib 伴走 Guide), a male runner (bib 202), a male high jumper (bib 21), a male runner (bib 200), a male runner (bib 20), and a female javelin thrower. A wheelchair athlete is shown in the bottom left. The bottom section contains the event title "NAGASEカップ 陸上競技大会" in large red and yellow characters, the dates "10.12 SAT" and "10.13 SUN", and the venue "国立競技場". Logos for WPA, JPA, and NAGASE are also present.

Further,
We Go.

WPA APPROVED COMPETITION
NAGASE CUP

555

21

202

200

20

8

312

伴走
Guide

第3回 WPA公認

NAGASEカップ
陸上競技大会

10.12 SAT
10.13 SUN

国立競技場

WRk対象競技会として実施予定

主催 JPA 東京陸上競技協会 特別協賛 **NAGASE**

- 開催日：2024年10月12日（土）13日（日）
- 場所：国立競技場（東京都新宿区）
- 参加者：1,564名／観客数：6,700名／記録：世界新3、アジア新7、日本新16
第3回NAGASEカップでは、障がいを持つアスリート・子どもを含め、1,564名（前回1,424名）と、アスリートの参加数が過去最多を記録。また2日間を通じて3個の世界記録、7個のアジア記録、16個の日本記録が更新され（※1）、NAGASEカップで過去最多数となるパラ記録が誕生。

■ 施策紹介：大会本番での施策

第3回大会の重点テーマである「インクルーシブの輪を拡げる」を実現するため、大会準備室では「インクルーシブな陸上競技大会」の運営における5つの課題を特定し、それぞれに対する施策を策定した。

【インクルーシブな陸上競技大会の運営における主な課題】

課題①観客の滞留時間の短さと競技への関心喚起の難しさ

観客が大会会場に滞在する時間が短く、他の競技に興味を持つ機会が少ない。そのため、さまざまな種目への関心を広げるきっかけづくりや工夫が求められる。

課題②パラ競技のルール認知度不足と観戦の難しさ

特にパラ競技に関するルールの認知度はまだ限定的で、どのポイントが見どころなのか分かりにくい。また、出場選手の情報をリアルタイムで得る手段が限られており、観客が競技をより深く楽しむためのサポートが求められている。

課題③健常者とパラアスリートの交流機会の不足

健常者とパラアスリートが交流できる場が設けられている大会が少なく、相互理解や共生社会の実現につながる機会が限られている。

課題④大会周辺地域への周知不足

大会が開催される地域の住民に対する周知が十分でなく、最も来場の可能性が高い地域からの観客を効果的に呼び込めていない可能性がある。

課題⑤次年度以降の運営改善に向けたフィードバックの収集・活用の必要性

大会の継続的な成長とコンセプトへの共感を促すために、各ステークホルダーからの有益なフィードバックを体系的に収集・分析し、運営の改善につなげる仕組みが必要。

課題解決のための施策

スタンプラリーと体験コーナー

解説実況音声の配信

アスリートラウンジの設置

周辺地域への広告施策

アンケートの実施

■ 施策紹介：大会本番での施策

大会当日には第3回NAGASEカップのコンセプトである「インクルーシブの輪を広げる」ための施策を複数組み合わせ、展開した。

【スタンプラリーと体験コーナー】

スタンプラリー参加者数(2日間合計)：約450名

実施施策(スタンプ付与箇所)：

- (1) 義足のアスリートを講師に招いた義足体験コーナー
- (2) デジタルデバイス(富士通株式会社「Antenna(オンテナ)」)を活用した競技観戦体験
- (3) オリジナルのフォトフレームで大会の記念写真がとれるフォトブース
- (4) 大会オリジナルデザインのタトゥーシールの配布
- (5) アンケート回答



※富士通株式会社「Antenna(オンテナ)」を活用した競技観戦体験：富士通株式会社が提供する、「Antenna」を装着しながら競技観戦する体験を提供。「Antenna」は髪の毛や耳たぶ、えり元やそで口などに身に付け、振動と光によって音の特徴を、からだで感じる全く新しいユーザーインターフェイスで、音や振動を通じて走り幅跳びの動きを体感する機会を提供。



成果：

- ・パラスポーツについての理解を深める体験を通じて、新たな気づきを提供することができた。
- ・競技の合間に楽しめるイベントとして、観客の離脱防止に貢献すると同時に多くの方の共感を得た。



【アンケートの実施】

- 観客、アスリート、ボランティア等大会に関わった方々へアンケートを実施。結果は、次年度以降の大会運営に活かしていくため集計し分析。

【解説実況音声の配信】

パナソニック株式会社のリアルタイム音声配信プラットフォーム「CHEERPHONE(チアホン)」を導入し、お笑い芸人のこにわさんをMCに迎え、観客へ向けて競技のみどころや実況・解説を音声で届けた。視聴希望者は無料・登録不要でQRコードやURLで簡単にアクセスでき、一日を通じてアスリートや有識者へのインタビューを配信。

成果：競技ルールや見どころ、アスリートの声など視聴者に対して、豊かな競技観戦体験を提供。



【アスリートラウンジの設置】

アスリートファーストの実現、並びに健常アスリートとパラアスリートの交流の場としてアスリートラウンジを設置。水と軽食を準備し、競技を終えた選手らが憩う場として活用された。

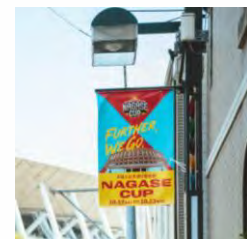
成果：交流の場、大会へのエンゲージメント向上。



【周辺地域での広告実施】

国立競技場の周辺地域に向けた周知活動のため、千駄ヶ谷大通り商店街へのフラッグ掲出と都営大江戸線国立競技場駅でポスターを掲出(大会開催前の1週間のみ)。

成果：周辺地域への周知、認知拡大。



■ 施策紹介：発信活動（メディア/Web/SNS）

メディアに向けた発信活動

実施期間：2024年3月～12月

目的：大会のコンセプトの発信と大会本番に向けた認知獲得、パラアスリートの魅力、ストーリーの発信

内容：大会広報としてメディアリレーション、メディアプロモートの実施により、メディアを通じた更なる情報、コンテンツ、コンセプトの拡散と理解促進を促す活動を継続的に実施。大会開催前には記者向けの事前レクチャー会を実施。

【第3回NAGASE カップ開催直前“インクルーシブな陸上競技大会”レクチャー会】

開催日時：2024年10月3日（木）

出席者数：10名程度

場所：長瀬産業 東京本社

登壇者：長瀬産業、富士通株式会社、パナソニック株式会社

成果：

- 大会のコンセプトや、デジタル施策の体験を通じた理解促進。
- メディアとのリレーション構築、強化。



各種Webサイトでの発信

実施期間：2024年3月～12月

目的：大会のコンセプトの発信と大会本番に向けた認知獲得、パラアスリートの魅力、ストーリーの発信

内容：大会の公式WEBサイトでのアスリートのインタビュー記事の公開、ならびに「U-SPORT PROJECT」での進捗レポートを作成。（近日中に公開予定）

成果：

- これらのプラットフォームの活用を通じて共感の輪を広げ、また大会当日の認知/集客につなげた。



SNSでの発信

実施期間：2024年3月～12月

目的：大会のコンセプトの発信と大会本番に向けた認知獲得、パラアスリートの魅力、ストーリーの発信

内容：大会公式SNSアカウント（インスタグラム）を活用し、大会前の準備期間、大会本番、大会後まで、タイムリーかつインタラクティブな情報発信を行い、同アカウントのフォロワー数を維持。大会本番では、国立競技場内にSNS発信チームを設置。写真撮影から画像のデザイン、投稿まで一貫して会場内で実施。

成果：

- SNSを通じて、障害のある人々やその支援者のストーリーをコンテンツ化して発信した。
- 国立競技場内での盛り上がりやSNSを通じてリアルタイムで広く伝播することができた。
- 出場アスリートからこのような取り組みの継続的な実施と、同様のSNS上での盛り上がりや創出する活動を他大会でも望んでいるといった声が寄せられた。

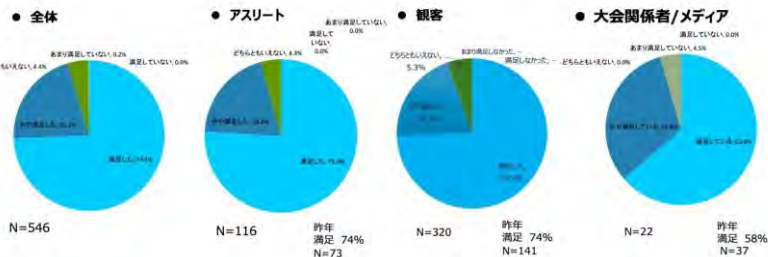


■ 成果報告

大会で実施したアンケート調査の結果から、**大会への高い満足度、インクルーシブな価値への共感が高い値を示し、大会の社会的評価が確認された。**これらの結果をステークホルダーに共有することで、大会認知や理解の浸透、共感者の増加につながり、**包括性のある社会の実現につながっていくことが示唆された。**

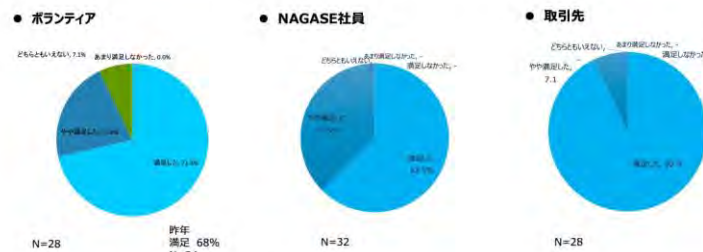
大会参加の満足度- 1

- 全体の満足度は「満足した」が74%、「やや満足した」が21%で、合計が95.6%と高い割合を示している。
- 満足度はどのカテゴリーも「満足した」、「やや満足した」の合計が8割を上回っている。
- 大会関係者/メディアでは、他のカテゴリーでは「満足している」が7割を超えているのに比べて、63%と低い傾向にあった。



大会参加の満足度- 2

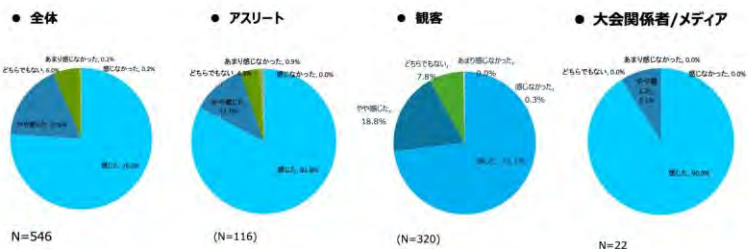
- 満足度はどのカテゴリーも「満足した」、「やや満足した」の合計が8割を上回っている。
- 特に取引先では、「満足した」が93%で最も高い割合を示した。



全体の満足度は「満足した」が74%、「やや満足した」が21%で、**合計が95.6%**と高い割合となった

大会コンセプトへの共感 「健康とバラの垣根を超えたインクルーシブ」な大会の必要性- 1

- 大会の必要性について、全体で「感じた」「やや感じた」の合計は93.6%と高い割合を示している。
- 大会関係者/メディアが最も高く100%となっている。



大会コンセプトへの共感 「健康とバラの垣根を超えたインクルーシブ」な大会の必要性- 2

- ボランティア、NAGASE社員、取引先においても「感じた」「やや感じた」の合計は9割を超え、100%に近い値を示している。



大会の必要性についても、全体で「感じた」「やや感じた」の合計は**93.6%**と高い割合となった

■ 考察と次年度以降の計画

これまでの開催実績をふまえ、第3回大会では、参画企業や関係者の輪を広げるとともに、新しいテクノロジーの活用を通じてより多くの人々がパラスポーツやアスリートの魅力に触れることができるような施策を実施することができた。

今後の更なる発展に向けた課題

- ✓ 子供たちが活躍できる機会の創出
- ✓ 新たな人材の発掘
- ✓ 大会の認知や理解の浸透のためにも、継続的にコミュニケーション施策を実施し、より多くの人に会場に足をはこんでいただくこと

次の「第4回NAGASEカップ」では、これまで培った知見を活かし、2024年度に導入したデジタル施策の対応範囲を拡張するとともに、会場での体験プログラムの充実を図り、大会の更なる発展を目指す。また、事前イベントにおいては、昨年度、晴海ふ頭公園で行った「ブラインドラン体験イベント」のような取り組みを、自治体と連携することで、今後全国に拡げていききっかけとなるイベントへと発展させていく。また、アスリートだけでなく、地域住民や観客に向けても更に施策を推進していくことで、大会コンセプトをより深化させ、「インクルーシブの輪」を更に拡げていくことを目指す。

